

# 常総市立小中学校適正配置実施計画 (素案)

令和4年3月

常総市教育委員会

## 目次

1. 適正配置検討の背景.....	1
はじめに .....	1
2. 児童生徒数の推移と将来推計 .....	2
(1) 市の人口の現状.....	2
(2) 児童生徒数の推移 .....	2
(3) 児童生徒数の将来推計.....	4
3. 小中学校施設の状況.....	5
4. 学校規模によるメリット・デメリット .....	8
5. 市の適正規模・適正配置に関する基本的な考え方.....	10
(1) 適正規模の基本的な考え方.....	10
(2) 適正配置の基本的な考え方.....	10
6. 適正配置の具体的方針 .....	12
(1) 適正配置の案 .....	12
7. 統合に関する課題や配慮すべき事項 .....	17
(1) 教育環境に関すること .....	17
(2) 地域との合意形成に関すること .....	17
(3) 通学体制に関すること .....	17
(4) 学校施設に関すること .....	17

## 付属資料

- 付属資料1 常総市立小中学校適正配置実施計画検討委員会設置条例
- 付属資料2 諮問書
- 付属資料3 アンケート結果

## 1. 適正配置検討の背景

はじめに

全国的に少子高齢化が進む中で、常総市でも平成17年ごろをピークに市の人口も減少している状況にあり、児童生徒数においても、昭和60年ごろをピークに減少傾向が続いており、令和2年度にはピーク時の約5割程度まで児童生徒数が減少し、小学校では複式学級、中学校では単学級が存在している状況です。

平成20年4月には茨城県教育委員会から公立小中学校の適正規模について、児童生徒のより良い学数環境や生活環境、人間関係の構築などの面から、望ましい学校の目指すべき姿を示した指針が出されました。

それを受けて、常総市教育委員会においても、平成20年10月に「常総市立学校適正配置審議会」を設置し、約2年に渡る審議を行い、平成22年8月に市立小中学校の適正配置・適正規模及び通学区域の基本的考え方、適正配置の具体的方策に関する答申をいただいたところです。

その後、地域や保護者からの声をお聞きしながら、適正配置の実施時期について検討してまいりましたが、前回の答申から約10年が経ち、社会情勢も大きく変化してきたこと、小学校においては複数学年で複式学級が発生する状況になってきたこと、中学校においては単学級が続いている学校があること、クラス替えが出来ない1学年1学級の学校が多くなってきたこと等の理由から、令和3年4月に「常総市立小中学校適正配置実施計画検討委員会」を設置し、令和3年5月に市からの諮問をうけ、児童生徒のより良い教育環境の確保のための実施計画の策定の協議を開始しました。

この実施計画は、審議会及び検討委員会からの答申を尊重しながら、児童・生徒の社会性の育成及び互いに切磋琢磨する場として一定規模の児童生徒数を確保するとともに、学校施設の更新計画などとの整合性を図りながら、子どもたちのより良い教育環境の確保に向けた具体的な方針を示すために策定するものです。

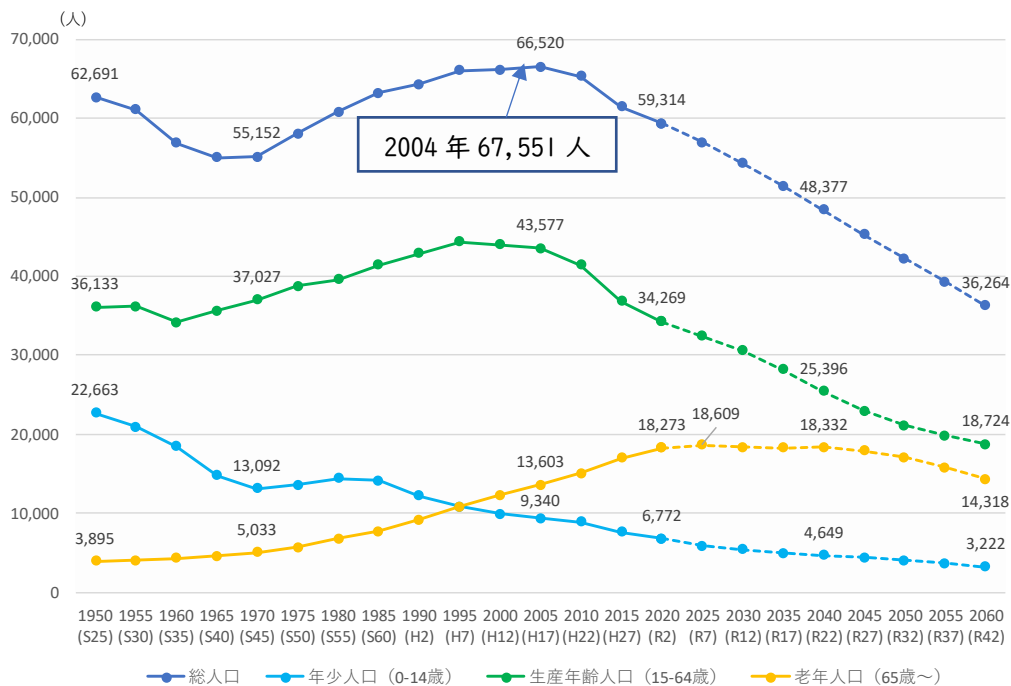
常総市の将来を担う子どもたちの教育環境をより良くしていくことは、子どもたちの未来への投資であり、我々の大人の責務であります。また、学校の適正配置を行うことは、学校を核としてきた「まちづくり」を行うことと同様です。そのことを十分に理解し、行政や学校だけでなく、保護者や地域住民など、全ての人が協力しながら、市が一体となって、この取り組みを進めていくことが肝要です。

## 2. 児童生徒数の推移と将来推計

### (1) 市の人口の現状

常総市の人口は、2004年の67,551人をピークに減少傾向に転じており、総人口は2040年には48,377人、2060年には36,264人になる推計がなされています。生産年齢人口は、1995年頃をピークに減少しています。年少人口も減少傾向にあり、2020年現在で6,772人ですが、2040年には4,649人、2060年には3,222人にまで減少する見込みです。一方、老年人口は、2025年頃にピークの18,609人に達し、2045年頃まで横ばいで推移したのち減少傾向となります。

【人口の推移と将来推計（図表1）】



出典：第2期常総市人口ビジョン（2021年3月）

総務省「国勢調査」及び茨城県常住人口調査

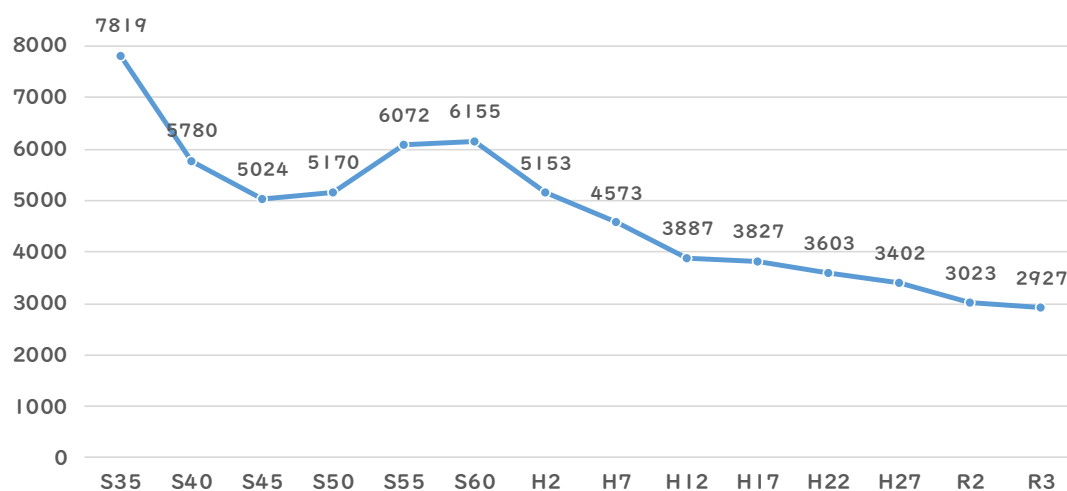
内閣府「将来人口推計のためのワークシート（社人研推計準拠）」を基に作成

### (2) 児童生徒数の推移

小学校の児童数は、昭和47年ごろまで減少し、その後、昭和59年ごろまで増加し、6,289人になりましたが、その後減少が続き、令和2年では3,023人となりました。昭和59年から比べ約半分になっています。

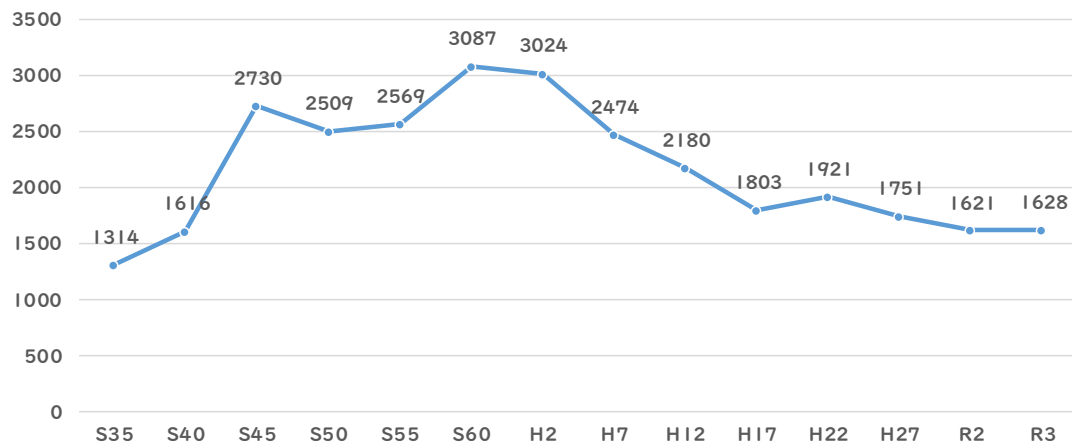
中学校の生徒数は、昭和47年ごろまで減少し、その後、昭和62年まで増加し、3,268人になりましたが、その後減少が続き、令和2年では1,621人となりました。昭和62年に比べ約半数になっています。

【児童数の推移（図表2）】



出典：市統計書及び学校基本調査

【生徒数の推移（図表3）】



出典：市統計書及び学校基本調査

※昭和40年から昭和45年に急激に増加しているのは、昭和41年水海道西中学校、昭和43年石下西中学校、昭和49年鬼怒中学校をそれぞれ設置しているため。

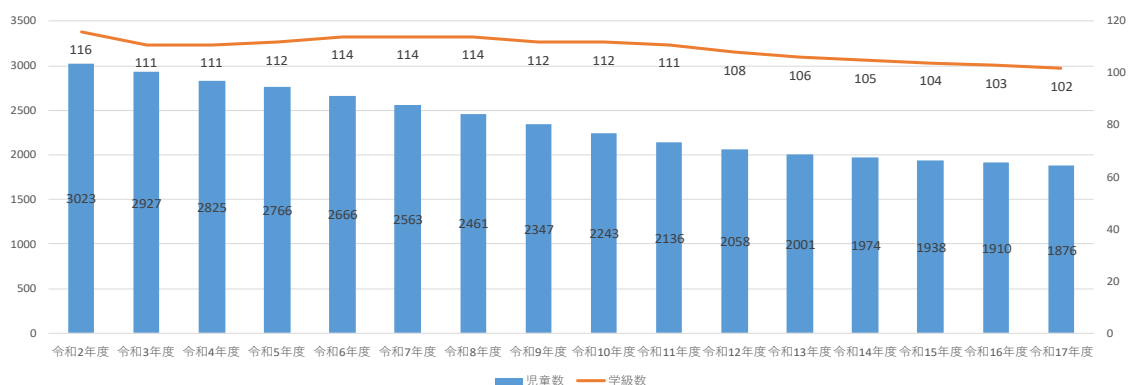
### (3) 児童生徒数の将来推計

令和3年度からの市立公立小中学校児童生徒数の推計は、以下のとおりで、減少傾向は今後も続く予想されます。

国においては、きめ細やかで質の高い教育を実現するために35人学級の編成を推進していることから、学級数については1学級あたり35人で試算しています。また、地域ごとの人口減少率の平均値を算出し、地域ごとの出生数にそれらに乗じることで、地域ごとの人口動態を反映した推計を行いました。

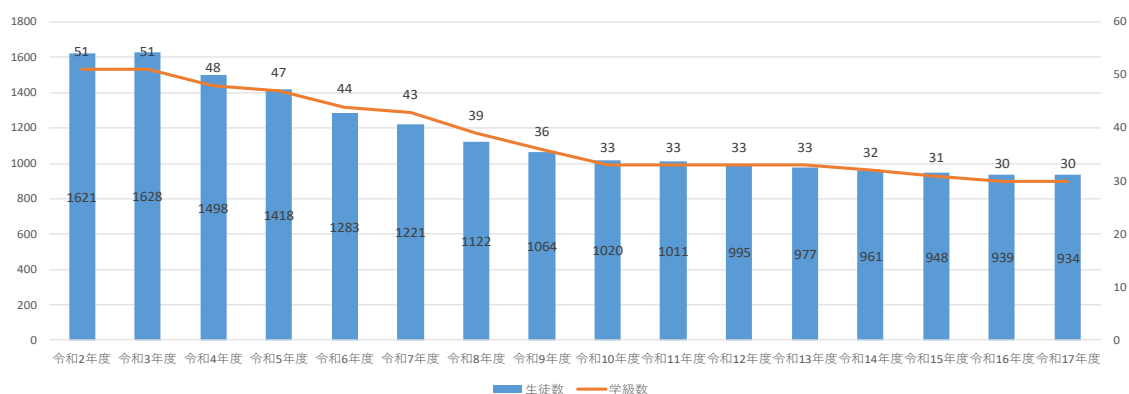
#### 【小学校児童数・学級数（図表4）】

小学校児童数の減少傾向は変わらず、令和3年度現在においても複式学級が設置されている小学校もあります。児童数の減少は、子どもたちの学習環境に最も大きく影響し、加えて学校運営及び学級運営への影響も大きいことから、早急に改善を図る必要があります。



#### 【中学校生徒数・学級数（図表5）】

中学校生徒数の減少傾向は変わらず、令和4年度と令和16年度を比較すると、生徒数は約600人減少すると予測されます。加えて、県立及び私立の中学を受験する生徒も増えてきていることから、さらに減少することも考えられます。



※注：児童生徒数は特別支援学級の人数を含むが、学級数は特別支援学級を含まない。  
 （支援の内容によって学級数が変動するため）

### 3. 小中学校施設の状況

市内小中学校の学校施設（校舎、体育館等）については、昭和40年代から50年代にかけて児童生徒の急増期に一斉に建築された施設が多く、ほとんどの建物が築40年以上経過しており、老朽化が進んでいる状態にあります。ただし、昭和56年以前に建築された校舎及び体育館等については、耐震診断の結果、基準値以下の建物については耐震補強工事を実施しています。

【小中学校施設一覧（図表6）】

[小学校]

学校名	建築年	構造	階数	区分	面積 (㎡)	耐震化状況	備考
水海道小学校	S45	RC	3	校舎	5,928	H22耐震補強	
	S49	RC	2	体育館	1,070	耐震基準適合	H4大規模改造
大生小学校	S56	RC	3	校舎	2,949	H27耐震補強	
	S57	S	2	体育館	775	耐震基準適合	
五箇小学校	S53	RC	3	校舎	1,982	耐震基準適合	
	S55	S	2	体育館	791	H22耐震補強	
三妻小学校	S53	RC	3	校舎	3,014	耐震基準適合	
	S55	S	2	体育館	850	耐震基準適合	
大花羽小学校	S56	RC	3	校舎	2,057	H27耐震補強	
	S57	RC	2	体育館	775	H25耐震補強	
菅原小学校	S53	RC	3	校舎	2,568	H26耐震補強	H26大規模改造
	S55	S	2	体育館	774	H23耐震補強	
豊岡小学校	S54	RC	3	校舎	4,165	H25耐震補強	H25大規模改造
	S56	S	2	体育館	998	耐震基準適合	
絹西小学校	S33	W	1	校舎	4,159	耐力度調査済	
	S56	S	2	体育館	777	H23耐震補強	
菅生小学校	S48	RC	3	校舎	2,526	H25耐震補強	H25大規模改造
	S51	RC	2	体育館	732	H10耐震補強	
岡田小学校	S46	RC	3	校舎	4,466	H24耐震補強	H7大規模改造
	S52	S	2	体育館	659	H21耐震補強	
玉小学校	S48	RC	2	校舎	1,887	H8耐震補強	
	S53	S	1	体育館	580	耐震基準適合	
石下小学校	S53	RC	3	校舎	4,491	H24耐震補強	
	S55	S	1	体育館	993	H22耐震補強	
豊田小学校	S57	RC	3	校舎	1,932	耐震基準適合	
	S52	S	1	体育館	580	H22耐震補強	
飯沼小学校	S51	RC	3	校舎	3,218	H9耐震補強	H13大規模改造
	S53	S	1	体育館	664	H23耐震補強	

[中学校]

学校名	建築年	構造	階数	区分	面積 (㎡)	耐震化状況	備考
水海道中学校	H5	RC	3	校舎	5,781	耐震基準適合	
	S47	S	2	体育館	1,451	耐震基準適合	H30長寿命化工事
	H2	S	1	武道場	513	耐震基準適合	
鬼怒中学校	S50	RC	3	校舎	3,242	H8耐震補強	H9大規模改造
	S52	S	2	体育館	1,204	H23耐震補強	
	H4	S	1	武道場	507	耐震基準適合	
水海道西中学校	H25	RC	4	校舎	5,834	耐震基準適合	
	S46	S	2	体育館	1,308	H22耐震補強	H30長寿命化工事
	H3	S	1	武道場	511	耐震基準適合	
石下中学校	H24	RC	3	校舎	4,987	耐震基準適合	
	H24	RC	1	体育館	1,280	耐震基準適合	
	H4	RC	2	武道場	770	耐震基準適合	
石下西中学校	H25	RC	2	校舎	4,996	耐震基準適合	
	H26	RC	1	体育館	1,268	耐震基準適合	
	S58	S	1	武道場	520	耐震基準適合	



[学校施設位置図 (図表7)]



#### 4. 学校規模によるメリット・デメリット

学校教育における学校規模は、学習面や生活面、学校運営の面などさまざまな場面で、それぞれメリットとデメリットが生じます。

児童生徒が一定の集団規模の中で、人とのかかわりを通して、多様な考えに触れ、切磋琢磨する機会が多いメリットが大規模校にはあり、小規模校には児童生徒一人ひとりへ目が届きやすく、きめ細やかな指導が行いやすいメリットがあります。

一方で、児童生徒の増加に伴い、一人ひとりの活動機会が少なくなりやすく、学校施設や設備の利用の面で制約が生じやすいデメリットが大規模校にはあり、小規模校には人間関係が固定しやすく、さまざまな集団の編成や多様な学習活動の展開が困難になる場合が発生しやすいというデメリットがあります。この傾向は、複式学級が存在する学校で顕著に表れやすくなります。

以下に掲げるメリットやデメリットは、学校の適正配置に関して、文部科学省が手引きとして作成したものであり、一般的な傾向として示すものです。

[小規模校のメリット・デメリット (図表8)]

	メリット	デメリット
学習面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の一人ひとりに目が届きやすく、きめ細やかな指導が行いやすい</li> <li>・学校行事や部活動等において、児童生徒一人ひとりの個別の活動機会を設定しやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団の中で、多様な考え方に触れる機会や学びあいの機会、切磋琢磨する機会が少なくなりやすい</li> <li>・1学年1学級の場合、ともに努力してより良い集団を目指す、学級間の相互啓発がなされにくい</li> <li>・運動会などの学校行事や音楽活動等の集団教育活動に制約が生じやすい</li> <li>・中学校の各教科の免許を持つ教員を配置しにくい</li> <li>・児童生徒数、教職員数が少ないため、グループ学習や習熟度別学習、小学校の専科教員による指導など、多様な学習、指導形態を取りにくい</li> <li>・部活動等の設置が限定され、選択の幅が狭まりやすい</li> </ul>
生活面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒相互の人間関係が深まりやすい</li> <li>・異学年間の縦の交流が生まれやすい</li> <li>・児童生徒の一人ひとりに目が届きやすく、きめ細やかな指導が行いやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラス替えが困難なこと等から、人間関係や相互の評価等が固定化しやすい</li> <li>・集団内の男女比に極端な偏りが生じやすくなる可能性がある</li> <li>・切磋琢磨する機会等が少なくなりやすい</li> <li>・組織的な体制が組みにくく、指導方法等に制約が生じやすい</li> </ul>
運営面 財政面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員間の意思疎通が図りやすく、相互の連携が密になりやすい</li> <li>・学校が一体となって活動しやすい</li> <li>・施設や設備の利用時間等の調整が行いやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員数が少ないため、経験、教科、特性などの面でバランスのとれた配置を行いにくい</li> <li>・学年別や教科別の教職員同士で、学習指導や生徒指導等についての相談、研究、協力、切磋琢磨等が行いにくい</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>一人に複数の校務分掌が集中しやすい</li> <li>教員の出張、研修等の調整が難しくなりやすい</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者や地域社会との連携が図りやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>PTA 活動等における保護者一人あたりの負担が大きくなりやすい</li> </ul>

[大規模校のメリット・デメリット (図表9)]

	メリット	デメリット
学習面	<ul style="list-style-type: none"> <li>集団の中で、多様な考え方に触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて、一人ひとりの資質や能力をさらに伸ばしやすい</li> <li>運動会などの学校行事や音楽活動等の集団教育活動に活気が生じやすい</li> <li>中学校の各教科の免許を持つ教員を配置しやすい</li> <li>児童生徒数、教員数がある程度多いため、グループ学習や習熟度別学習、小学校の専科教員による指導など、多様な学習、指導形態を取りやすい</li> <li>様々な種類の部活動等の設置が可能となり、選択の幅が広がりやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全教職員による各児童生徒一人ひとりの把握が難しくなりやすい</li> <li>学校行事や部活動等において、児童生徒一人ひとりの個別の活動機会を設定しにくい</li> </ul>
生活面	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラス替えがしやすいことなどから、豊かな人間関係の構築や多様な集団の形成が図られやすい</li> <li>切磋琢磨すること等を通じて、社会性や協調性、たくましさ等を育みやすい</li> <li>学校全体での組織的な指導体制を組みやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学年内、異学年間の交流が不十分になりやすい</li> <li>全教職員による各児童生徒一人ひとりの把握が難しくなりやすい</li> </ul>
運営面 財政面	<ul style="list-style-type: none"> <li>教員数がある程度多いため、経験、教科、特性などの面でバランスのとれた教職員配置を行いやすい</li> <li>学年別や教科別の教職員同士で、学習指導や生徒指導等についての相談、研究、協力、切磋琢磨等が行いやすい</li> <li>校務分掌を組織的に行いやすい</li> <li>出張、研修等に参加しやすい</li> <li>子ども一人あたりにかかる経費が小さくなりやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員相互の連絡調整が図りづらい</li> <li>特別教室や体育館等の施設、設備の利用の面から、学校活動に一定の制約が生じる場合がある</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>PTA 活動等において、役割分担により、保護者の負担を分散しやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者や地域社会との連携が難しくなりやすい</li> </ul>

## 5. 市の適正規模・適正配置に関する基本的な考え方

### (1) 適正規模の基本的な考え方

市全体の人口減少に伴い、児童生徒数も減少しており、国や県が示す標準規模に達していない状況にあり、適正規模以前の問題として、小学校で複式学級、中学校で単学級が存在している現状です。

児童生徒のより良い教育環境を確保するためには、発達段階における子どもたちにとって、社会性を育み、多様な考えに触れ、認め合い、励まし合い、協力し合い、切磋琢磨する場としての学校には一定の集団規模の確保が望ましいと考えます。

#### 【文部科学省】

国の基準では、1～5学級を過小規模校、6～11学級を小規模校、12～18学級を適正規模校、19～30学級を大規模校、31学級以上を過大規模校と規定しています。

『小学校の学級数は、12学級以上18学級以下を標準とする。ただし、地域の実態その他により特別の事情があるときは、この限りでない。』

※学校教育法施行規則第41条抜粋第79条において中学校にも準用

#### 【茨城県】

『小学校においては、クラス替えが可能である各学年2学級以上となる12学級以上が望ましい。』

『中学校においては、クラス替えが可能で、全ての教科の担任が配置できる9学級以上が望ましい。(国語・社会・数学・理科・英語に複数の教員の配置が可能)』

※平成20年4月「公立小・中学校の適正規模について(指針)」より抜粋

#### 【常総市】

常総市においては、既設の学校の歴史的、地理的、文化的経緯も十分に考慮し、単に機械的に行うことなく、教育的観点、地域性などに配慮しながら進めていくこととしたうえで、以下のとおりとします。

- ①小学校は、クラス替えが可能な各学年2学級以上となる12学級以上が望ましい
- ②中学校は、クラス替えが可能で、全ての教科の担任が配置できる9学級以上が望ましい

### (2) 適正配置の基本的な考え方

学校の適正配置の具体的な方法としては、統合及び学区再編が考えられますが、常総市の小中学校は、旧町村ごとに配置されている地区が多く、一定の集団規模(適正規模)を確保するための統合再編を進める場合、通学距離が遠距離となる児童生徒、地域が多くなることが見込まれます。

そのため、学校の適正配置については、児童生徒の通学距離、通学条件を考慮することが必要です。また、成長段階において児童生徒の身体的な負担や安全面などにも配慮する必要があることから、国や茨城県では、通学距離や適正配置について以下のように示しています。

#### 【文部科学省】

##### ・通学距離による考え方

『通学距離が、小学校にあってはおおむね4 km以内、中学校及び義務教育学校にあってはおおむね6 km以内であること。』

※義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令第4条第1項第2号より抜粋

##### ・通学時間による考え方

『適切な交通手段が確保でき、かつ遠距離通学や長時間通学によるデメリットを一定程度解消できる見通しが立つということを前提として、通学時間について「おおむね1時間以内」を一応の目安とした上で、各市町村において地域の実情や児童生徒の実態に応じて1時間以上や1時間以内に設定することの適否を含めた判断を行うことが適当であると考えられます。』

※平成27年1月「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」より抜粋

#### 【茨城県】

##### ・適正配置を進めるにあたっての考え方

『児童生徒の学習環境を充実させるために、複式学級の解消を積極的に図るべきである。』

小学校においては、全ての学年においてクラス替えが出来ない1学年1学級の学校について、統合を検討すべきである。

中学校においては、クラス替えが出来ない5学級以下の学校について、生徒の教育環境の面から統合や近隣校との学区の見直しを検討すべきである。

過去に児童生徒の増加により分離新設された学校については、急激な児童生徒の減少が生じている場合もある。これらの学校においては、本来の学区を分離新設により分割した場合が多く、学校間の距離が近い地区もあることから学校の適正配置を検討し、学区の見直しや統合による適正規模化に向けた取組を検討すべきである。

なお、学校規模などから、統合を実施しても適正規模になることが見込めない場合であっても、将来的な複式学級の回避、児童生徒の社会性や良好な人間関係を築くための生活集団の確保という観点からも、個々の学校の置かれている地域の実情を勘案しながら、統合を積極的に検討すべきである。』

※平成20年4月「公立小・中学校の適正規模について（指針）」より抜粋

#### 【常総市】

常総市としては、国及び茨城県の考え方を踏まえ、常総市の基本的な考え方として、

##### ①通学距離については、

小学校においてはおおむね4 km以内、中学校においてはおおむね6 km以内とする。

##### ②通学時間については、

おおむね1時間以内を目安とすることが望ましい。

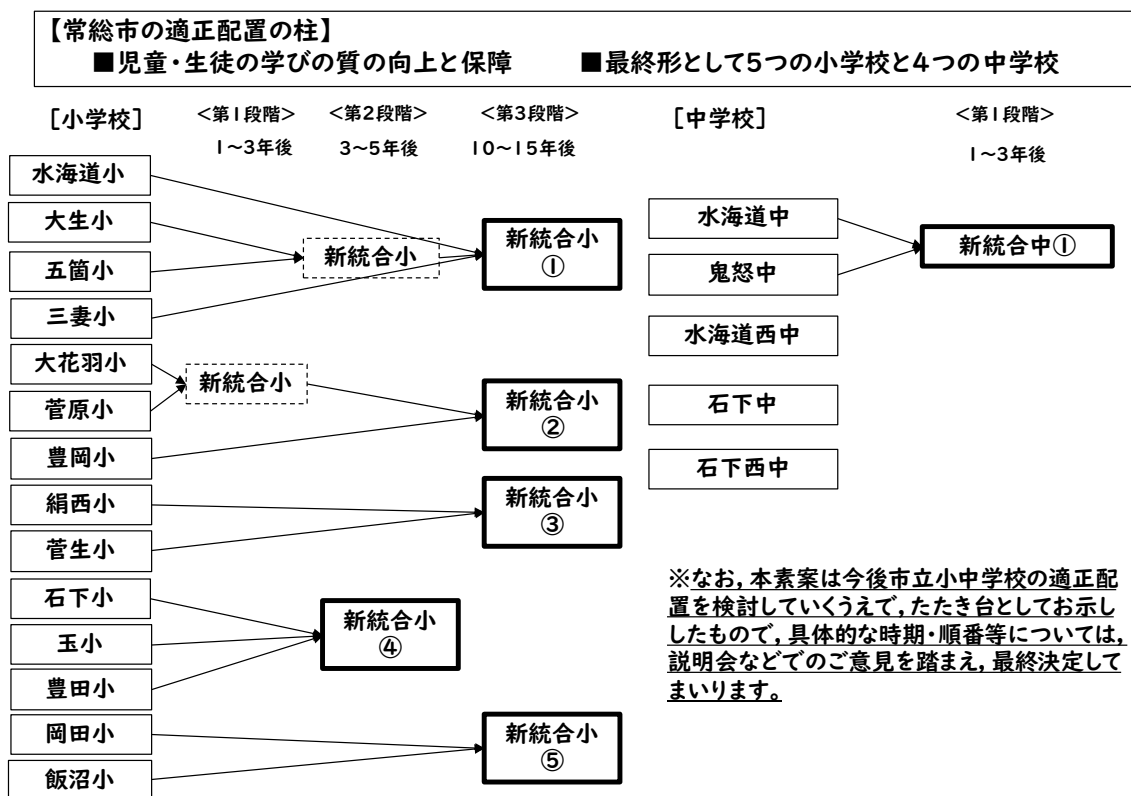
## 6. 適正配置の具体的方針

### (1) 適正配置の案

児童生徒の推移状況、地域性、市の適正規模・適正配置の基本的な考え方を考慮し、現時点での統合校の組み合わせは下記のとおりとしたいと考えます。なお、この案は、市内の公立小中学校19校全校を対象として、将来の10年から15年先を見据え、3つの段階に分けて、段階に計画的に進めるものです。児童・生徒の学びの質の向上と保障を柱とし、最終的な形として、小学校が5校、中学校が4校の形になるよう進めてまいります。

なお、この案は現時点での案であり、今後の人口動態や社会情勢、保護者や地域からの声を丁寧にお聞きしながら、柔軟に対応していけるようにしてまいります。

[第一次答申における全体の統合計画の案（図表10）]



[第1段階について]

第1段階については、すでに小学校の複式学級および中学校の単学級が発生している学校を対象とし、1年から3年後を目標に、早急な対応が必要であると考えます。具体的には下記のとおりです。

統合対象校

- ・大花羽小学校と菅原小学校の統合を目指します

目標統合時期

- 1年から3年後の統合を目指します

統合理由

複式学級が存在する状態が継続する予測のため、それを解消するため

統合による児童数・学級数の変化

対象校	令和3年度		令和17年度		令和17年度		
	児童数	学級数	児童数	学級数	学年	児童数	学級数
大花羽小	48	4	28	3(複式)	1	15	1
菅原小	103	6	68	6	2	15	1
					3	16	1
					4	16	1
					5	17	1
					6	17	1
					合計	96	6

統合対象校

- ・鬼怒中学校と水海道中学校の統合を目指します

目標統合時期

- 1年から3年後の統合を目指します

統合理由

単学級が存在する状態が継続する予測のため、それを解消するため

統合による児童数・学級数の変化

対象校	令和3年度		令和17年度		令和17年度		
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	学年	生徒数	学級数
鬼怒中	95	3	75	3	1	83	3
水海道中	330	10	180	6	2	85	3
					3	87	3
					合計	255	9

[第2段階について]

第2段階については、複式学級および単学級は発生していないが、その可能性のある学校を対象に、3年から5年を目標に進めたいと考えています。

具体的には下記のとおりです。

□統合対象校

- ・石下小と豊田小と玉小の統合を目指します
- ・五箇小と大生小の統合を目指します

□統合目標時期

目標時期に関しては、3年から5年後の統合を目指します

□統合理由

適正規模に向けての統合

□統合による児童数・学級数の変化

対象校	令和3年度		令和17年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数
玉小	107	6	35	3(複式)
石下小	404	13	289	12
豊田小	108	6	61	6

令和17年度		
学年	児童数	学級数
1	62	2
2	63	2
3	64	2
4	65	2
5	65	2
6	66	2
合計	385	12

対象校	令和3年度		令和17年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数
大生小	117	6	33	4(複式)
五箇小	67	6	47	3(複式)

令和17年度		
学年	児童数	学級数
1	13	1
2	13	1
3	13	1
4	13	1
5	14	1
6	14	1
合計	80	6



[第3段階について]

第3段階については、常総市の適正規模・適正配置に関する基本的な考え方に基づき、適正規模校へ向けて、10年から15年を目標に進めたいと考えています。

□統合対象校

- ・水海道小と三妻小および【第2段階の大生小、五箇小の統合校】の統合を目指します
- ・豊岡小および【第1段階の大花羽小、菅原小の統合校】の統合を目指します
- ・絹西小と菅生小の統合を目指します
- ・岡田小と飯沼小の統合を目指します

□統合目標時期

- ・目標時期に関しては、10年から15年後の統合を目指します

□統合理由

適正規模に向けての統合

□統合による児童数・学級数の変化

対象校	令和3年度		令和17年度		令和17年度		
	児童数	学級数	児童数	学級数	学年	児童数	学級数
水海道小	458	13	339	12	1	86	3
三妻小	179	6	113	6	2	87	3
統合校	184	6	80	6	3	88	3
					4	89	3
					5	91	3
					6	91	3
					合計	532	18

対象校	令和3年度		令和17年度		令和17年度		
	児童数	学級数	児童数	学級数	学年	児童数	学級数
豊岡小	212	7	183	6	1	43	2
統合校	151	6	96	6	2	44	2
					3	46	2
					4	47	2
					5	49	2
					6	50	2
					合計	279	12

対象校	令和 3 年度		令和 17 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数
絹西小	429	12	192	6
菅生小	147	6	79	6



令和 17 年度		
学年	児童数	学級数
1	45	2
2	45	2
3	45	2
4	45	2
5	45	2
6	46	2
合計	271	12

対象校	令和 3 年度		令和 17 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数
岡田小	321	12	236	12
飯沼小	227	8	173	6



令和 17 年度		
学年	児童数	学級数
1	64	2
2	66	2
3	67	2
4	69	2
5	71	3
6	72	3
合計	409	14

## 7. 統合に関する課題や配慮すべき事項

### (1) 教育環境に関すること

市の適正配置案の目標時期を基に統合再編を進めることが望ましいと考えますが、今後の社会情勢の変化や児童生徒数の変動等に応じて適切に見直すことが必要です。特に、具体的な統合の時期については、保護者と課題を共有し、十分な協議を行いながら推進することが必要です。

### (2) 地域との合意形成に関すること

児童生徒の良好な学習環境の確保を第一とし、市内小中学校が均衡のとれた規模になるよう適正な配置を推進することが望ましいと考えますが、一方で、学校は地域のシンボルでもあり、歴史的、文化的観点からも地域との結びつきが強いことを考慮し、地域の方々と課題を共有し、理解と協力が得られるよう努めることが必要です。

### (3) 通学体制に関すること

学区の広域化による児童生徒への負担に対し十分に配慮し、安全安心な通学環境の確保に努めることが必要です。

特に遠距離通学になる児童については、スクールバスの導入も検討することが必要です。

### (4) 学校施設に関すること

学校施設については、可能な限り、新しい教育スタイルに合致する施設整備を検討することが必要です。

## 付属資料

付属資料 1 常総市立小中学校適正配置実施計画検討委員会設置条例

付属資料 2 諮問書

付属資料 3 アンケート結果

常総市立小中学校適正配置実施計画検討委員会設置条例

令和 3 年 3 月 1 7 日

条例第 5 号

(設置)

第 1 条 市立小中学校における教育の充実及び教育環境の整備を目的とした市立小中学校適正配置実施計画（以下「実施計画」という。）の策定について検討するため、常総市立小中学校適正配置実施計画検討委員会（以下「検討委員会」という。）を置く。

(所掌事項)

第 2 条 検討委員会は、教育委員会の諮問に応じ、次に掲げる事項について審議し、答申する。

- (1) 実施計画を策定するための検討に関すること。
- (2) 前号に掲げるもののほか、実施計画の策定に関し、教育委員会が必要と認める事項に関すること。

(組織)

第 3 条 検討委員会は、委員 2 5 名以内で組織し、次に掲げる者のうちから、教育委員会が委嘱し、又は任命する。

- (1) 市議会の議員 2 名以内
- (2) 学識経験を有する者 2 名以内
- (3) 自治区の代表者 2 名以内
- (4) 民生委員の代表者 2 名以内
- (5) 市立小中学校の P T A の代表者 1 0 名以内
- (6) 市内の幼稚園、保育所等の保護者 4 名以内
- (7) 市立小中学校の校長 3 名以内

(委員の任期等)

第 4 条 委員の任期は、2 年とする。ただし、再任を妨げない。

2 委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 第 1 項の規定にかかわらず、特定の地位又は職により委嘱され、又は任命された委員の任期は、当該地位又は職にある期間とする。

(会長及び副会長)

第 5 条 検討委員会に会長及び副会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 会長は、検討委員会を代表し、会務を総括する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第 6 条 検討委員会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集し、その会議の議長と

なる。

- 2 会議は、委員の過半数が出席しなければ、これを開くことができない。
- 3 議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 4 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、意見を聴くことができる。

(庶務)

第7条 検討委員会の庶務は、教育委員会事務局において処理する。

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附則

(施行期日)

- 1 この条例は、令和3年4月1日から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。

(準備行為)

- 2 第3条の規定により委員を委嘱し、又は任命するために必要な準備行為は、この条例の施行の日前においても行うことができる。

(招集の特例)

- 3 第6条第1項の規定にかかわらず、第5条第1項の規定による会長及び副会長の選任がなされる前の会議の招集は、教育委員会がこれを行う。

諮問書

令和3年5月13日

常総市立小中学校適正配置実施計画検討委員会 様

常総市教育委員会

常総市立小中学校の適正配置実施計画について（諮問）

常総市立小中学校において、より良い教育環境を整備し、充実した学校教育の実現に資するため、常総市立小中学校適正配置実施計画検討委員会設置条例（令和3年常総市条例第5号）第2条の規定に基づき、下記の事項について諮問します。

記

1 諮問する事項

- (1) 常総市立小中学校の適正配置・適正規模及び通学区域の基本的考え方
- (2) 常総市立小中学校の適正配置の実施計画

2 諮問の理由

現在、全国的に少子高齢化が進む中で、全国の子どもの数は減少し続けています。

常総市においても同様に、児童生徒数は年々減少しており、特に近年では、児童生徒数の減少の幅が顕著となっており、単学級の増加や複式学級のさらなる増加も予想される状況となっております。

義務教育は、子ども同士の学び合いや様々な学校活動を通して新たな人間関係を築いていく中で社会性を育む大事な時期であり、学校全体として一定数の児童生徒数を確保することは、良好な教育環境を構築する上で極めて重要な要素と言えます。

そのようなことから、今後更なる減少が見込まれる状況にあり、将来においても良好な教育環境を確保し続けるためには、適正な学校配置を早急に実行する必要があります。クラス替えができない学年が生じ、新たな人間関係による社会性が育ちに弱くなっていきます。さらには、教員の絶対数が少なくなることによる学校運営面においても様々な問題が生じてきています。

また、学校施設の多くが昭和40年代から50年代に建設されたことから、施設の老朽化も大きな課題となっております。

このような状況の中で、子どもたちの健やかな成長と豊かな人間性をはぐくむための場として、よりよい教育環境を整備し、充実した学校教育の実現に資するため、常総市の学校の適正な規模及び配置について諮問いたします。

常総市小中学校適正配置アンケート調査(小中学校保護者対象)のポイント

《概要》

- ・市内全 19 校の小中学校児童生徒保護者を対象に 7 月 14 日から 9 月 30 日にかけてアンケートを実施しました。
- ・実施方法はいばらき電子申請の無記名アンケート機能または紙媒体の回答用紙にて実施しました。
- ・対象数は小学校が 2,926 件，中学校が 1,628 件，計 4,554 件であります。

《調査結果のポイント》

問1 お子さんの通われている小学校・中学校はどちらですか。

- ・学校の区分を表したものになります。
- ・全体の回答数は 1,767 件で回答率 38.8%です。

問2 お子さんの学年はどちらですか。

- ・学校別および学年別で表したものになります。

問3 小中学校の適正配置(統合)そのものについて、どのようにお考えでしょうか。

- ・理解できる，おおむね理解できると回答した方が約 63%になります。

《学校別の特徴》

- ・A「理解できる」の回答結果を学校別にみると，D 三妻小，E 大花羽小，J 岡田小に関して，平均 25.7%より 10pt 以上高く出ている傾向があります。

問4 小中学校適正配置の具体的な組み合わせ案についてどう思われますか。

- ・全体の割合で見ると，「賛同できる」「おおむね賛同できる」と回答した方が約 83%になります。

《学校別の特徴》

- ・A「賛同できる」の回答結果を学校別にみると，E 大花羽小，J 岡田小，K 玉小，N 飯沼小に関して平均 36.8%より 10pt 以上高く出ている傾向があります。
- ・B「おおむね賛同できる」C「どちらとも言えない」の回答結果をみると，B「おおむね賛同できる」は 45.7%，C「どちらとも言えない」は 13.2%と一定の割合があることがわかります。これにより，組み合わせ案に反対ではないが大賛成ではないと捉えられる結果であり，個別にご意見を伺う場を設ける必要があると考えられます。



問5 お子さんが通学する学校の小中学校適正配置の実施時期について、どのように考えていますか。

- ・全体の割合でみると、A「すぐに必要」約34%、B「5年程度先に必要」約35%になります。
- ・A「すぐに必要」との回答結果を学校別にみると、B大生小、D三妻小、E大花羽小、P鬼怒中において、50%以上の高い数値が出ており、中でもE大花羽小は85.7%、P鬼怒中は60%と早急な対応が必要と感じる保護者が多いと考えられます。

問6 小中学校適正配置に関する判断の理由を以下の中から選択してください。※複数選択最大3つまで。

- ・全体の結果として、適正配置がメリットと感じる意見の中でA「.集団の中で、多様な考えに触れ、協力し合い、切磋琢磨する機会が多く、競争心も育成される」が22.7%と最も高くなりました。
- ・デメリットを感じる意見の中では、H「学校までの距離が遠くなることから、登下校時の安全性が心配」が13.3%と最も高い数値となりました。
- ・問3との比較結果によるとD「あまり理解できない」E「理解できない」と回答した方が理由とするところでH「学校までの距離が遠くなることから、登下校時の安全性が心配」やI「児童生徒の増加により、子どもたち一人ひとりの把握が難しくなりやすい」の回答が平均よりも15pt以上高い傾向にあります。

問6 その他の意見

- ・少子化に関するご意見や学校施設への要望に関するご意見がありました。

問7 自由意見

- ・全体として、通学に関するご意見が多くありました。
- ・学習環境の改善に関するご意見、子供たちの精神的不安に関するご意見など様々なご意見がありました。

# 常総市小中学校適正配置 アンケート調査（小中学校保護者対象）

令和3年10月18日  
常総市教育委員会

## I.調査の概要

1. 調査の目的	..... 2
2. 調査方法	..... 2
3. 調査期間	..... 2
4. アンケート調査の調査項目内容	..... 2
5. アンケートの回収方法	..... 2

## II.調査結果

問1	お子さんが通われている小学校・中学校はどちらですか（市内19小中学校）	..... 3
問2	お子さんの学年はどちらですか	..... 4
問3	小中学校の適正配置（統合）そのものについて、どのようにお考えでしょうか	..... 5,6
問4	小中学校適正配置の具体的な組み合わせ案についてはどう思われますか	..... 7,8
問5	お子さんが通学する学校の小中学校適正配置の実施時期について、 どのように考えていますか	..... 9,10
問6	小中学校適正配置に関する判断の理由を、以下の中から選択してください ※複数選択，最大3つまで	..... 11～14
問7	その他，小中学校適正配置に対するご意見があれば，ご自由に記述ください	..... 14～23

## I.調査の概要

### 1. 調査の目的

市教育委員会では児童・生徒数の減少が進む中、今年4月に常総市立小中学校適正配置実施計画検討委員会を設置し、市内19校の小中学校を対象に、今後10年から15年を見据えた適正な学校配置の検討をスタートしました。

この度、児童生徒の保護者の皆さまと問題意識を共有するとともに、様々なご意見をお聞かせいただき、計画策定の参考とさせていただきます。保護者アンケート調査を実施させていただきます。

### 2. 調査方法

いばらき電子申請システムの無記名アンケートを使用。

市立小中学校保護者に対して、依頼文を通知し、添付されたQRコードやURLから「いばらき電子申請システム」の回答フォームにアクセスしていただきます。

また、電子申請での回答が難しい場合は紙の回答用紙にて回答していただきます。

児童・生徒一人につき1回の回答。

※回答数は、設問によって違うことがあります。

### 3. 調査期間

令和3年7月14日(木)から令和3年9月30日(木)

### 4. アンケート調査の調査項目内容

設問	目的
問1・学校区分	回答者の属性を把握し、分析を行うため
問2・学年区分	
問3・適正配置に関する意見	適正配置全体に対する意向を把握するため
問4・市の具体案に関する意見	市の適正配置組み合わせ案に対しての意向を把握するため
問5・適正配置の時期	
問6・適正配置に関する意見の理由	
問7・適正配置に関する自由意見	適正配置に関する意向の理由を把握するため

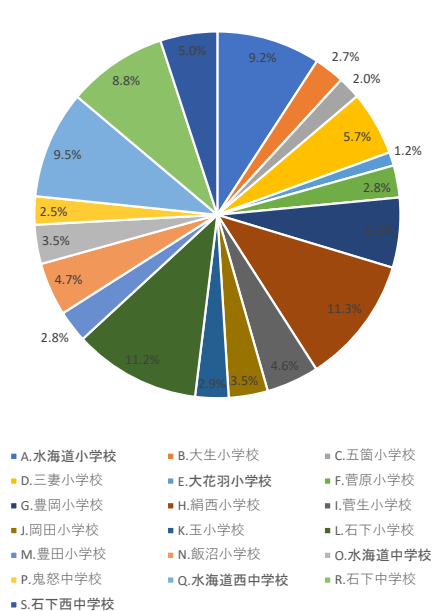
### 5. アンケートの配付と回収方法

対象者	小学校	中学校	配付計
配付数	2,926	1,628	4,554
配付方法	学校配付	学校配付	
回収方法	いばらき電子申請(アンケート) または、回答用紙	いばらき電子申請(アンケート) または、回答用紙	

2

## II.調査結果

### 問1 お子さんが通われている小学校・中学校はどちらですか(市内19小中学校)



	対象数	回答数	回答率
A.水海道小学校	459	162	35.3%
B.大生小学校	117	47	40.2%
C.五箇小学校	67	35	52.2%
D.三妻小学校	181	100	55.2%
E.大花羽小学校	48	21	43.8%
F.菅原小学校	101	50	49.5%
G.豊岡小学校	212	109	51.4%
H.絹西小学校	429	199	46.4%
I.菅生小学校	147	82	55.8%
J.岡田小学校	320	61	19.1%
K.玉小学校	107	52	48.6%
L.石下小学校	403	198	49.1%
M.豊田小学校	108	50	46.3%
N.飯沼小学校	227	83	36.6%
O.水海道中学校	329	61	18.5%
P.鬼怒中学校	95	44	46.3%
Q.水海道西中学校	550	168	30.5%
R.石下中学校	353	156	44.2%
S.石下西中学校	301	89	29.6%
合計	4,554	1,767	38.8%

3

## II.調査結果

問2 お子さんの学年はどちらですか？

学校	学年 対象数	学年									合計	回答率
		A.小学1年	B.小学2年	C.小学3年	D.小学4年	E.小学5年	F.小学6年	G.中学1年	H.中学2年	I.中学3年		
		221	186	180	210	243	209	180	187	150	1,766	38.8%
A.水海道小学校	459	31	23	24	33	27	24				162	35.3%
B.大生小学校	117	4	10	5	6	13	9				47	40.2%
C.五箇小学校	67	3	6	3	10	6	7				35	52.2%
D.三妻小学校	181	13	19	15	16	21	16				100	55.2%
E.大花羽小学校	48	0	2	5	2	7	5				21	43.8%
F.菅原小学校	101	14	3	6	8	13	6				50	49.5%
G.豊岡小学校	212	23	17	11	18	19	21				109	51.4%
H.絹西小学校	429	25	34	33	35	33	39				199	46.4%
I.菅生小学校	147	18	10	18	11	15	10				82	55.8%
J.岡田小学校	320	14	6	11	9	13	8				61	19.1%
K.玉小学校	107	10	10	6	9	11	6				52	48.6%
L.石下小学校	403	45	30	25	36	27	35				198	49.1%
M.豊田小学校	108	6	7	9	7	14	7				50	46.3%
N.飯沼小学校	227	15	9	9	10	24	16				83	36.6%
O.水海道中学校	329							20	28	13	61	18.5%
P.鬼怒中学校	95							20	16	8	44	46.3%
Q.水海道西中学校	550							48	54	66	168	30.5%
R.石下中学校	353							56	55	44	155	43.9%
S.石下西中学校	301							36	34	19	89	29.6%

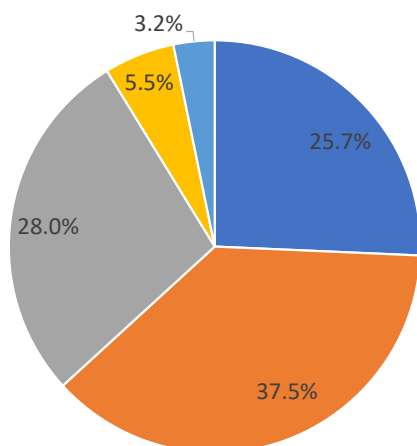
※1件無回答あり。問1の回答数1,767から1件減っております。

4

## II.調査結果

問3 小中学校の適正配置（統合）そのものについて、どのようにお考えでしょうか。

※問1で回答した1,767件が対象



	回答数	割合
A.理解できる	454	25.7%
B.おおむね理解できる	663	37.5%
C.どちらとも言えない	495	28.0%
D.あまり理解できない	98	5.5%
E.理解できない	57	3.2%
合計	1,767	100.0%

- A.理解できる
- B.おおむね理解できる
- C.どちらとも言えない
- D.あまり理解できない
- E.理解できない

○「理解できる・おおむね理解できる」と回答した人が、**約63%**

5

問3 小中学校の適正配置（統合）そのものについて、どのようにお考えでしょうか。

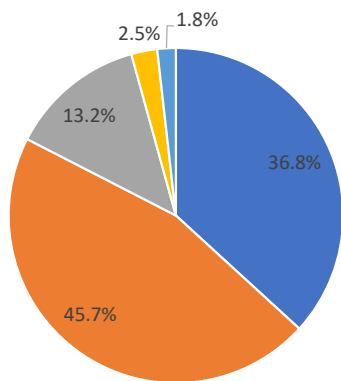
	回答数	A.理解できる		B.おおむね理解できる		C.どちらとも言えない		D.あまり理解できない		E.理解できない	
全体	1,767	454	25.7%	663	37.5%	495	28.0%	98	5.5%	57	3.2%
A.水海道小学校	162	45	27.8%	70	43.2%	29	17.9%	12	7.4%	6	3.7%
B.大生小学校	47	14	29.8%	21	44.7%	11	23.4%	1	2.1%	0	0.0%
C.五箇小学校	35	10	28.6%	15	42.9%	5	14.3%	1	2.9%	4	11.4%
D.三妻小学校	100	37	37.0%	38	38.0%	23	23.0%	1	1.0%	1	1.0%
E.大花羽小学校	21	8	38.1%	8	38.1%	3	14.3%	0	0.0%	2	9.5%
F.菅原小学校	50	11	22.0%	20	40.0%	18	36.0%	0	0.0%	1	2.0%
G.豊岡小学校	109	30	27.5%	40	36.7%	29	26.6%	9	8.3%	1	0.9%
H.網西小学校	199	42	21.1%	63	31.7%	65	32.7%	18	9.0%	11	5.5%
I.菅生小学校	82	15	18.3%	29	35.4%	30	36.6%	5	6.1%	3	3.7%
J.岡田小学校	61	24	39.3%	22	36.1%	7	11.5%	2	3.3%	6	9.8%
K.玉小学校	52	12	23.1%	17	32.7%	18	34.6%	1	1.9%	4	7.7%
L.石下小学校	198	48	24.2%	70	35.4%	66	33.3%	10	5.1%	4	2.0%
M.豊田小学校	50	12	24.0%	22	44.0%	14	28.0%	1	2.0%	1	2.0%
N.飯沼小学校	83	23	27.7%	34	41.0%	19	22.9%	5	6.0%	2	2.4%
O.水海道中学校	61	19	31.1%	27	44.3%	14	23.0%	1	1.6%	0	0.0%
P.鬼怒中学校	44	14	31.8%	14	31.8%	10	22.7%	3	6.8%	3	6.8%
Q.水海道西中学校	168	27	16.1%	65	38.7%	60	35.7%	12	7.1%	4	2.4%
R.石下中学校	156	31	19.9%	53	34.0%	57	36.5%	12	7.7%	3	1.9%
S.石下西中学校	89	32	36.0%	35	39.3%	17	19.1%	4	4.5%	1	1.1%

6

II.調査結果

問4 小中学校適正配置の具体的な組み合わせ案についてはどう思われますか。

※問3で、A「理解できる」、B「おおむね理解できる」と回答された方1,117件が対象



	回答数	割合
A.市の組み合わせ案に賛同できる	411	36.8%
B.市の組み合わせ案におおむね賛同できる	511	45.7%
C.どちらとも言えない	147	13.2%
D.市の組み合わせ案にはあまり賛同できない	28	2.5%
E.市の組み合わせ案には賛同できない	20	1.8%
合計	1,117	100.0%

- A.市の組み合わせ案に賛同できる
- B.市の組み合わせ案におおむね賛同できる
- C.どちらとも言えない
- D.市の組み合わせ案にはあまり賛同できない
- E.市の組み合わせ案には賛同できない

○「賛同できる・おおむね賛同できる」と回答した人が、**約83%**

7

問4 小中学校適正配置の具体的な組み合わせ案についてはどう思われますか。

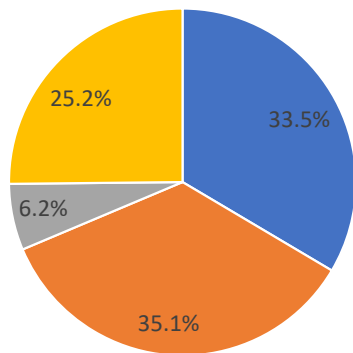
	回答数	A市の組み合わせ案に賛同できる		B市の組み合わせ案におおむね賛同できる		C.どちらとも言えない		D.市の組み合わせ案にはあまり賛同できない		E.市の組み合わせ案には賛同できない	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
全体	1,117	411	36.8%	511	45.7%	147	13.2%	28	2.5%	20	1.8%
A.水海道小学校	115	40	34.8%	50	43.5%	16	13.9%	1	0.9%	8	7.0%
B.大生小学校	35	11	31.4%	12	34.3%	9	25.7%	3	8.6%	0	0.0%
C.五箇小学校	25	5	20.0%	16	64.0%	2	8.0%	2	8.0%	0	0.0%
D.三妻小学校	75	28	37.3%	27	36.0%	12	16.0%	7	9.3%	1	1.3%
E.大花羽小学校	16	9	56.3%	5	31.3%	2	12.5%	0	0.0%	0	0.0%
F.菅原小学校	31	7	22.6%	19	61.3%	3	9.7%	2	6.5%	0	0.0%
G.豊岡小学校	70	25	35.7%	30	42.9%	10	14.3%	1	1.4%	4	5.7%
H.緋西小学校	105	33	31.4%	51	48.6%	20	19.0%	0	0.0%	1	1.0%
I.菅生小学校	44	12	27.3%	27	61.4%	4	9.1%	1	2.3%	0	0.0%
J.岡田小学校	46	24	52.2%	18	39.1%	3	6.5%	1	2.2%	0	0.0%
K.玉小学校	29	15	51.7%	9	31.0%	3	10.3%	1	3.4%	1	3.4%
L.石下小学校	118	46	39.0%	54	45.8%	17	14.4%	1	0.8%	0	0.0%
M.豊田小学校	34	15	44.1%	15	44.1%	3	8.8%	1	2.9%	0	0.0%
N.飯沼小学校	57	27	47.4%	22	38.6%	5	8.8%	2	3.5%	1	1.8%
O.水海道中学校	46	18	39.1%	19	41.3%	7	15.2%	0	0.0%	2	4.3%
P.鬼怒中学校	28	10	35.7%	15	53.6%	2	7.1%	1	3.6%	0	0.0%
Q.水海道西中学校	92	30	32.6%	48	52.2%	12	13.0%	2	2.2%	0	0.0%
R.石下中学校	84	33	39.3%	37	44.0%	10	11.9%	2	2.4%	2	2.4%
S.石下西中学校	67	23	34.3%	37	55.2%	7	10.4%	0	0.0%	0	0.0%

8

II.調査結果

問5 お子さんが通学する学校の小中学校適正配置の実施時期について、どのように考えていますか。

※問4で、A「市の組み合わせ案に賛同できる」、B「市の組み合わせ案におおむね賛同できる」と回答のあった922件が対象



	回答数	割合
A. すぐに必要	309	33.5%
B. 5年程度先に必要	324	35.1%
C. 10年以上先に必要	57	6.2%
D. わからない	232	25.2%
計	922	100.0%

- A. すぐに必要
- B. 5年程度先に必要
- C. 10年以上先に必要
- D. わからない

○「すぐに必要」と回答した人が、**約34%**  
「5年程度先に必要」と回答した人が**約35%**

9

問5 お子さんが通学する学校の小中学校適正配置の実施時期について、どのように考えていますか。

<小中学校別>

	回答数	A.すぐに必要		B.5年程度先に必要		C.10年以上先に必要		D.わからない	
全体	922	309	33.5%	324	35.1%	57	6.2%	232	25.2%
A.水海道小学校	90	28	31.1%	27	30.0%	2	2.2%	33	36.7%
B.大生小学校	23	13	56.5%	3	13.0%	2	8.7%	5	21.7%
C.五箇小学校	21	7	33.3%	9	42.9%	0	0.0%	5	23.8%
D.三妻小学校	55	29	52.7%	19	34.5%	2	3.6%	5	9.1%
E.太花羽小学校	14	12	85.7%	0	0.0%	0	0.0%	2	14.3%
F.菅原小学校	26	9	34.6%	12	46.2%	0	0.0%	5	19.2%
G.豊岡小学校	55	20	36.4%	20	36.4%	2	3.6%	13	23.6%
H.網西小学校	84	23	27.4%	30	35.7%	12	14.3%	19	22.6%
I.音生小学校	39	7	17.9%	16	41.0%	7	17.9%	9	23.1%
J.岡田小学校	42	10	23.8%	14	33.3%	2	4.8%	16	38.1%
K.玉小学校	24	8	33.3%	15	62.5%	0	0.0%	1	4.2%
L.石下小学校	100	28	28.0%	36	36.0%	8	8.0%	28	28.0%
M.豊田小学校	30	8	26.7%	18	60.0%	0	0.0%	4	13.3%
N.飯沼小学校	49	14	28.6%	10	20.4%	5	10.2%	20	40.8%
O.水海道中学校	37	18	48.6%	12	32.4%	2	5.4%	5	13.5%
P.鬼怒中学校	25	15	60.0%	7	28.0%	0	0.0%	3	12.0%
Q.水海道西中学校	78	28	35.9%	22	28.2%	5	6.4%	23	29.5%
R.石下中学校	70	19	27.1%	29	41.4%	3	4.3%	19	27.1%
S.石下西中学校	60	13	21.7%	25	41.7%	5	8.3%	17	28.3%

10

## II.調査結果

問6 小中学校適正配置に関する判断の理由を、以下の中から選択してください。 ※複数選択、最大3つまで

選択	回答数	割合
A.集団の中で、多様な考えに触れ、協力し合い、切磋琢磨する機会が多く、競争心も育成される	1,045	22.7%
B.運動会などの学校行事や音楽活動などの集団教育活動に活気が生まれやすい	386	8.4%
C.児童・生徒数、教員数がある程度多いため、グループ学習や習熟度別学習、専科教員による指導など、多様な学習・指導形態が取りやすい	335	7.3%
D.児童・生徒数が多いとクラブ活動や部活動の種類が豊富である	359	7.8%
E.クラス替えが柔軟にできることから、人間関係や相互の評価などが固定化されない	447	9.7%
F.児童・生徒数が多いと運動会などの学校行事や音楽活動などの集団教育活動が適している	90	2.0%
G.児童・生徒数が多いとPTA活動等における保護者一人あたりに負担が小さい	311	6.8%
H.学校までの距離が遠くなることから、登下校時の安全性が心配	611	13.3%
I.児童生徒の増加により、子どもたち一人ひとりの把握が難しくなりやすい	518	11.3%
J.学校行事や部活動などにおいて、児童生徒一人ひとりに個別の活動機会を設定しにくい	97	2.1%
K.保護者や地域社会との連携が難しくなりやすい	140	3.0%
L.児童・生徒数が多くなってしまうと、児童生徒相互の人間関係が深まりにくい	116	2.5%
M.児童・生徒数が多くなってしまうと、異学年間の縦の交流が薄れてしまう	52	1.1%
N.地域のシンボルや伝統がなくなってしまうことで、地元への愛着心がなくなってしまう	58	1.3%
O.その他	39	0.8%
	4,604	100.0%

11

問6 小中学校適正配置に関する判断の理由を、以下の中から選択してください。  
 ※複数選択、最大3つまで

		問3										計		
回答		A.理解できる		B.おおむね理解できる		C.どちらとも言えない		D.あまり理解できない		E.理解できない				
問6	A.集団の中で、多様な考えに触れ、協力し合い、切磋琢磨する機会が多く、競争心も育成される	A	352	30.0%	409	23.2%	250	19.7%	23	9.2%	11	7.2%	1,045	22.7%
	B.運動会などの学校行事や音楽活動などの集団教育活動に活気が生まれやすい	B	130	11.1%	179	10.1%	72	5.7%	5	2.0%	0	0.0%	386	8.4%
	C.児童・生徒数、教員数がある程度多いため、グループ学習や習熟度別学習、専科教員による指導など、多様な学習・指導形態が取りやすい	C	123	10.5%	151	8.6%	54	4.3%	5	2.0%	2	1.3%	335	7.3%
	D.児童・生徒数が多いとクラブ活動や部活動の種類が豊富である	D	126	10.8%	159	9.0%	67	5.3%	5	2.0%	2	1.3%	359	7.8%
	E.クラス替えが柔軟にできることから、人間関係や相互の評価などが固定化されない	E	158	13.5%	198	11.2%	86	6.8%	4	1.6%	1	0.7%	447	9.7%
	F.児童・生徒数が多いと運動会などの学校行事や音楽活動などの集団教育活動が滞っている	F	34	2.9%	42	2.4%	14	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	90	2.0%
	G.児童・生徒数が多いとPTA活動等における保護者一人あたりに負担が小さい	G	94	8.0%	139	7.9%	69	5.5%	8	3.2%	1	0.7%	311	6.8%
	H.小学校までの距離が遠くなることから、登下校時の安全性が心配	H	65	5.5%	198	11.2%	250	19.7%	66	26.4%	32	21.1%	611	13.3%
	I.児童生徒の増加により、子どもたち一人ひとりの把握が難しくなりやすい	I	44	3.8%	145	8.2%	231	18.2%	62	24.8%	36	23.7%	518	11.3%
	J.学校行事や部活動などにおいて、児童生徒一人ひとりに個別の活動機会を設定しにくい	J	2	0.2%	30	1.7%	42	3.3%	18	7.2%	5	3.3%	97	2.1%
	K.保護者や地域社会との連携が難しくなりやすい	K	17	1.5%	46	2.6%	42	3.3%	16	6.4%	19	12.5%	140	3.0%
	L.児童・生徒数が多くなってしまうと、児童生徒相互の人間関係が深まりにくい	L	9	0.8%	25	1.4%	50	3.9%	18	7.2%	14	9.2%	116	2.5%
	M.児童・生徒数が多くなってしまうと、異学年間の縦の交流が薄れてしまう	M	4	0.3%	14	0.8%	16	1.3%	10	4.0%	8	5.3%	52	1.1%
	N.地域のシンボルや伝統がなくなってしまうことで、地元への愛着心がなくなってしまう	N	5	0.4%	15	0.9%	15	1.2%	9	3.6%	14	9.2%	58	1.3%
O.その他	O	9	0.8%	14	0.8%	8	0.6%	1	0.4%	7	4.6%	39	0.8%	
合計			1,172	100.0%	1,764	100.0%	1,266	100.0%	250	100.0%	152	100.0%	4,604	100.0%



問6 小中学校適正配置に関する判断の理由を、以下の中から選択してください。【その他の意見】

※個人を特定されるような記述は省略させていただきます。

No	問1 学校区分	問6 その他の意見
1	A.水海道小学校	O.その他(意見は問7で答えました。)
2	A.水海道小学校	O.その他(いじめが隠れやすくなってしまふ)
3	A.水海道小学校	O.その他(統合する事が正しいとは限らない。)
4	A.水海道小学校	O.その他(やらない方がよい。)
5	A.水海道小学校	O.その他(子供数の減少や校舎の老朽化により 合併が進むことはしかたないとおもいます)
6	F.菅原小学校	O.その他(少子化をなんとかしてほしい、これは何年も前から分かっていた問題なのに何も行動していない、そもそも論点がおかしい)
7	F.菅原小学校	O.その他(統合ではなく、少子化をなんとかした方がよい、そもそも論点がおかしい)
8	F.菅原小学校	O.その他(集団生活が苦手な子供にとっては苦痛、混乱を増やしてしまう。)
9	G.豊岡小学校	O.その他(3段階まで必要なのかと思ってしまう。)
10	G.豊岡小学校	O.その他(学校側の負担が大きくなり、結果生徒を十分に目を向けられなくなる)
11	G.豊岡小学校	O.その他(どれにもあてはまらない)
12	H.絹西小学校	O.その他(極端に人数の少ない学校であれば、統合も仕方がないと思う。)
13	H.絹西小学校	O.その他(今でさえ学校が遠く登下校が大変なので統合するとかよりも近くに学校を作ってほしい。作る予定だったと聞いたが作る予定地だった場所に倉庫ができてしまっているの市には不信感しかありません。)
14	H.絹西小学校	O.その他(保護者が、学校行事と時の駐車等がスムーズにいかなくなる)
15	H.絹西小学校	O.その他(人口が減っている以上は当然の施策だと思うから。)
16	H.絹西小学校	O.その他(少子化が進んでるので仕方ない)
17	H.絹西小学校	O.その他(過疎化、少子化が進み建物等の劣化など直す資金が市にないなら、各学校に児童を集め子供達全員が学校生活を充実できるようにした方がよいと思うから。)
18	H.絹西小学校	O.その他(統合でクラスが増えれば一クラスの人数が適正になる。現在の人数は多過ぎると思う。)
19	H.絹西小学校	O.その他(人数が多いと先生の目が届かないので子供達の間でトラブルが増えるのでは?と心配です)
20	H.絹西小学校	O.その他(学校行事等の保護者の参観や児童生徒の早退の際、保護者の対応に時間がかかる。(駐車場が無い場合と車の少ない家庭、どちらもケースも遠方だと行き来に困る。)
21	I.菅生小学校	O.その他(これまで少人数で絆の深まりや縦割り班など人間関係が充実しとても満足しているが、案としては理解できる。変化は必要なのかとも考える。)
22	J.岡田小学校	O.その他(岡田幼稚園と飯沼幼稚園が合併したので、小学校も早く合併してほしい。小学校が別々になるのはこどもたちも寂しがっている。)
23	J.岡田小学校	O.その他(子供の数が減少すれば学校が統合されるのは自然な事だと思えます。オンライン授業を積極的に取り入れて、統合後もサテライト教室として旧校舎の敷地を利用すれば、登下校の心配は減るのではと思います。)
24	K.玉小学校	O.その他(経費削減)

25	K.玉小学校	0.その他(隣の町の千代川の蚕飼小学校のように、地域に学校が無い場合、移住の目的となり、地域の繋がりが分断される。)
26	K.玉小学校	0.その他(鬼怒川決壊の時、地域の消防団の声かけで助かりました。水の勢いは5分で50センチ以上膝上までみずは来ました。近くの幼稚園は2メートル近くまで冠水しました。子供の足では、逃げ切れません。地域には小学校は防災のために必要です。)
27	L.石下小学校	0.その他(小さい学校は統合することでメリットはあるかもしれないが、石下小、玉小、豊田小と一緒にすれば、大きくなりすぎると思う)
28	L.石下小学校	0.その他(石下小、玉小、豊田小が統合されるのは大きすぎる。)
29	L.石下小学校	0.その他(子供が少ないなら仕方ない事だと思っている。)
30	L.石下小学校	0.その他(児童数の少ない学校でも一定の基準を満たす設備や人員は必要で、非効率的である。)
31	N.飯沼小学校	0.その他(幼稚園が統合して、小学校に上がるタイミングでせっかく仲良くなかった友達と離れ離れになってしまうのが可愛そう！)
32	O.水海道中学校	0.その他(予算を削るようなやり方なら反対)
33	P.鬼怒中学校	0.その他(よく分からない)
34	Q.水海道西中学校	0.その他(児童数が少ない学校ではしょうがないこと。児童数が多い所は先生の人数が足りない。統合で解消されるなら肯定です。)
35	R.石下中学校	0.その他(市の財政と子供の人数の都合であれば、仕方ないと思う。プール、図書室、体育館などの設備が充実できるようにすれば。)
36	R.石下中学校	0.その他(経費削減)
37	R.石下中学校	0.その他(もう卒業するので特になし)

問7 その他、小中学校適正配置に対するご意見があれば、ご自由に記述ください。

※個人を特定されるような記述は省略させていただきます。

No	問1 学校区分	問7 自由意見
1	A.水海道小学校	少ない所では、お友達とのトラブル時など子どもの逃げ場がないと他の保護者から聞くことがあり、早急に進めるべきだと思います
2	A.水海道小学校	子供が少ないので統合は仕方ないと思いますが、他の市等を見て感じた事は、先生の目が行き届くのか、負担が増えて、マイナスな出来事が増えないかとかの不安はあります。そういうネガティブな事を払拭出来る様に、真剣に考えていただきたいと思っています。
3	A.水海道小学校	おむね同意はしますが、子供の為というのもあると思いますが、結局は小学校が多いとお金がかかると、少なくしたいのだから、というのが1番の理由ですよね。税収が減っている中、贅沢は言えないんだらうなと思ってる選択です。ただ水海道小合併の4校は多いのでは？
4	A.水海道小学校	先生の対応能力以上の規模になるのは反対、対応可能な適正人数の規模にすべき、大規模な集団活動はデメリットの方が多く気がする、多様性を尊重する流れの中、逆行しているように感じる
5	A.水海道小学校	近隣では統廃合が進む中、常総市はなぜ進まないか疑問に思っていた。積極的に進めるべき。
6	A.水海道小学校	教育委員やPTAにはモンスターペアレンツが多いので、まずはその見直し。体罰は良くないが、多少は親も目を瞑るべき。教職員の方々の苦勞も理解せずに文句ばかり言う親は無視して、もっと自信を持って先生をやってほしい。
7	A.水海道小学校	生徒数が増えると、成績にも差が出てきたり、職員の方の目も行き届かなくなってきたり、職員の出張も出てきたりどうするのかもしれない。いじめなどの問題も出てきたらどうするのかもしれない。いじめなどの問題も出てきたらどうするのかもしれない。いじめなどの問題も出てきたらどうするのかもしれない。いじめなどの問題も出てきたらどうするのかもしれない。
8	A.水海道小学校	特に中学校の部活動がやりたくても人数の確保ができずやりたくてもできない状況もあるため子どもたちの大事な中学校生活を送るために考えて欲しい
9	A.水海道小学校	他の市町村の統廃合をみると、難しい面もあるように思います
10	A.水海道小学校	適正配置とか考える前に、外国人の生徒に対しての対応を考えてほしい。日本の学校に入るのであれば、ある程度語学に理解力がないと、コミュニケーションが取れないのではないかな。その事によって、授業の支障が生じている時もあるのではないかなと思う。今までもどおりがよい。
11	A.水海道小学校	水海道地区については、現状で困っていないため、今までもどおりがよい。
12	A.水海道小学校	地元の権力者や高齢者の意見に流されることがなく、児童・生徒の教育の観点から進めてほしい。地域のシンボルや連帯感などは後から生まれるものです。ステークホルダーの意見より、教育サービスを受ける本人、家庭が判断するものであり、その意見を尊重して取り組んでほしい。
13	A.水海道小学校	一長一短があり、大変難しいことです
14	A.水海道小学校	やらない方がよい。
15	A.水海道小学校	大花羽小出身。当時から1学年20人前後しかいなかったため、人間関係で悩んだ時の逃げ場(クラス替え)がなく学校が地獄だった。中学が7クラスあり、良くも悪くも埋もれられたため楽になった。子どもたちのためをおもっても、統廃合はスピードをもって行うべきと思う。元の学区ですら歩ける距離ではない距離を歩いて通う子どもも多い。スクールバスで対応してあげれば良いと思う。また、鬼怒中に関しては人数が足りすぎて部活すらままならない事もあるようなので、中学選択制を活用しつつ鬼怒中への統合も進めていくべき。
16	A.水海道小学校	生徒や児童の人数が増えるのであれば 先生方の配置数も増員していただき、子ども達に今以上の心配りをしていただきたい。また 先生方が子ども達にゆとりを持って 指導して いていただける仕事内容 ストレスなくのびのびと接していただける環境を作ってください
17	B.大生小学校	現在、女の子が5人で奇数のため今後1人だけ仲間外れになってしまったりしないか心配である。少人数の良いところもあるが、統合しても多すぎる人数ではないかと思うので友達作りや学習、行事においてもちょうど良い人数になるのではないかと、思う。
18	B.大生小学校	大丈夫です
19	B.大生小学校	統合する学校はある程度中学校区で選択できるとよい
20	B.大生小学校	大丈夫です

21	B.大生小学校	少人数の良い面もあるが、統合しても多すぎる人数ではなく、友達作りや部活や行事においてもよい人数になるのではないかと、と思う。
22	B.大生小学校	校舎の老朽化も気になります
23	C.五箇小学校	現状ですとすぐに合併が必要とは思いませんが、今後、各学年が10人未満となってしまうことがあれば、その時は合併が必要になると思います。
24	C.五箇小学校	五箇+大生+三妻+水海道のところは、地域性から水海道は別の方が良いと思う。その方が人数も適当であると思う。
25	C.五箇小学校	コロナの感染状況や、治療の確立がされていない状況下で、人数が増えればリスクが増えるのは心配がある。
26	C.五箇小学校	少人数学級の良さを生かして、学力向上を目指してほしい
27	C.五箇小学校	五箇大生三妻でいいと思います
28	C.五箇小学校	地域によってPTA活動や地域活動が盛んな所とそうでない所と差があり保護者への負担は偏るのでは無いかと思う。
29	C.五箇小学校	統合する際、その年とその年の前後の子達が気の毒だなと思います。最大限にサポートしてもらいたいです。そして、早めにわかりやすく告知してもらいたいです。
30	C.五箇小学校	問5は通っている小学校について回答しましたが、水海道中と鬼怒中の合併案はすぐに必要と考えます。理由については、問6の回答のとおりです。
31	C.五箇小学校	どのような統合になるかは分かりませんが、通学にはスクールバスの導入をお願いします。子供たちの負担軽減もそうですが、先日、千葉県で発生した登下校時の事故の再発防止にも、是非スクールバスの導入をお願いしたいと思います。
32	C.五箇小学校	第三段階の五箇、大生、三妻、水海道について、五箇、大生、三妻は分かると水海道はこれまでの地域性、関係性を考えると一緒でない方がよい。その方が児童数も適性であると思う。
33	D.三妻小学校	人数が少ないメリットもあるが、高校生になりいきなり大人数の中生活するよりも小学生生活、中学生生活でクラス替えや選択肢の多い部活動など選べる幅が広がるとうれしい。出会いが大切であり友達との付き合いは今後の生活で大切なため
34	D.三妻小学校	三妻小と水海道小の統合は距離的にも考えられない
35	D.三妻小学校	段階的でなく、即実施した方がよい。
36	D.三妻小学校	それなりの人数の中で沢山のことを経験させたい。クラス替えがないため誰が何ができるなど順番やグループが固定される事に不満がある。成績もある程度固定されてくるようこの子には勝てないなど諦めがつきそうなので1クラスは不安が多い。
37	D.三妻小学校	コロナ感染が落ち着いてから統合していくことが望ましいと思います。
38	D.三妻小学校	複式学級になっているような学校から統廃合を進めていくべきだと思う
39	D.三妻小学校	場所によっては登下校の距離が遠くなり、安全性を保つために公平なスクールバスの導入が必要。また、統合前からの準備として居住地域から近い小・中学校への安全な通学が出来るように段階的な準備が必要ではないか。通学の利便性から昔からその地域の学校に通わせているが、近い将来統合されるのであれば、前もって自宅から近い小・中学校に通わせたい。そのためには通学の利便性を損なわず、また、安全性も必要である。
40	D.三妻小学校	小中学校適正配置に関しては賛同する上で、意見および統合案を提示したい。まず、統合するにあたっては、設置場所による距離の格差を軽減し、地域社会の理解が得られるためには、スクールバスの利用が必須であると考えます。また、市の統合案は、鬼怒川を境に考えてあるが、スクールバスを利用するのであれば、水海道地区に関しては南北で統合するのも1つである。例として、菅原+大花羽+三妻+五箇+大生、水海道+豊岡+絹西+菅生を統合する案を上げたい。
41	D.三妻小学校	大いに賛成。そして、1クラス35人以下にして欲しい。
42	D.三妻小学校	コロナ感染が落ち着いてから、統合していくことが望ましいと思います。
43	D.三妻小学校	小中学校適正配置の組み合わせ案についてはおおむね納得し理解ができました。ただ、実際に統合した後の校舎を使用することになるのか、新設するとなるとおおよその場所はどの辺りになるのかという事も示していただけたらとありがたいです。自分の子供の通学距離がどの程度になるのかは、保護者にとっても非常に心配になる部分ですので、そのあたりまで案を出していただけないと不安があります。
44	D.三妻小学校	スクールバスを出して欲しい

45	D.三妻小学校	いつから開始になるのか、具体的に説明してほしい。
46	D.三妻小学校	教育環境人間関係の形成はとても大切だと思っています。色んな生徒や先生方から刺激をもらって成長できる環境が親としてはありがたいです。古い校舎なので、子ども達が生活する上でトイレ等新しくして頂けたらと思います。三妻小はバス通学、電車通学と自腹で通学している方がいる点も改善されたらと思います。
47	D.三妻小学校	あらかじめ中学校入学前に部活動のアンケートを実施し、中学校ごとに部活動を分けて人数を割り振れるような仕組みにしたら、均等化がはかれるのではないかと思います。まだ朝は市内に循環バスを走らせて通学に支障がないようにしていきたいらどうか。
48	D.三妻小学校	子育て世代が魅力を感じる町にして、子どもの人数を増やす努力をするべきだと思います。
49	E.大花羽小学校	動くのが速い
50	E.大花羽小学校	すぐにも実行すべき。まずは子供たちも慣れるために合併する学校の生徒たちとレクリエーションの機会など設けるとか。
51	E.大花羽小学校	通える学校を選択制にしてほしい。スクールバスを出す場合は無料にしてほしい。体操服などはそのままといじめにもつながる恐れがある為、初回分は無償提供してほしい。
52	E.大花羽小学校	来年度からの合併を希望。登下校についての不安は多少あるが、人数が増えることの利点が多いと思う。学童の送迎車が利用出来たらありがたい。
53	E.大花羽小学校	地域で育てて欲しいので学校が遠くなり小さな時に地域で育てられないことが不満。
54	E.大花羽小学校	プールの授業があまりなかったため、統合の必要は考えられませんが、通学の利便性がなくなるので、大変になってしまおうと思う。
55	E.大花羽小学校	複式学級が続いた段階で早急に配置すべき
56	E.大花羽小学校	4年生が5人の時点で動くべきだと思う。動くのが遅すぎる。
57	E.大花羽小学校	本来であれば大花羽小だが、人数が少ないから他の学校に行く児童がいる。よほどの理由がなければ学区内の学校に通えばそれほど人数が大幅に減少しなかったのではないかと小学校も人数が多すぎずともあまり賛成できない。先生の目が行き届かないのではないかと
58	F.菅原小学校	中学校は別として、小学校でクラス10人以上であれば統合の必要性は感じない。
59	F.菅原小学校	第一段階の菅原と大花羽の合併はすぐにもいいと思うが、第三段階の+豊岡合併はする必要はない。
60	F.菅原小学校	少子化をなんとかしないと未来はない、今だけ良ければいいというのは困る
61	F.菅原小学校	少子化を止めなければ先はない
62	F.菅原小学校	中学校は別として、小学校でクラス10人以上であれば統合の必要性は感じない。
63	G.豊岡小学校	豊岡小、菅原小を統合してほしい。バスも出してほしい。
64	G.豊岡小学校	子供を地域に増やす策を練ってほしいです
65	G.豊岡小学校	早急な適正配置を望みます。
66	G.豊岡小学校	低学年から39人、多国籍で、授業参観に行っても先生一人でみてもらえないことが伝わってきます。それに比べて、少人数の学校との差があり過ぎるとおもいます。
67	G.豊岡小学校	大きな橋をまたぐのはちょっと…と思います。
68	G.豊岡小学校	統合に関してあまりネガティブな感情はないが、今でさえクラスにぎゅうぎゅうに子供たちがいて、先生は事務的な対応になっていてと感じる。それが統合したことによって対処されるなら大いに賛成。
69	G.豊岡小学校	1学年1クラスになってしまいう場合は、なるべく早く、統合すべきと考えます。アットホームな雰囲気の良い部分もありますが、クラス替えが出来ない、多様な考えの人がいることに触れる機会が減ってしまうなど、子供たちにとってマイナスの面が多いと考えます。
70	G.豊岡小学校	子供達が遊ぶ場所も家の周りになくなり、地区は細かく分けすぎて自転車で地区が今で行けないからもの凄く近い所でも地区外になる。子供が遊ぶのは共働きの親のいない家。お金を渡しておく親も多い為、変な事を覚えて自分の親の財布から取るようになってしまいう子もいる。市はもっと子育て世帯に良い街づくりをして欲しい。周りはお年寄りばかりで地区の仕事をして貰うのも大変だろうと思う人も多い。どう子育てしていったらいいのか不安だらけだ。
71	G.豊岡小学校	田舎で人気のない箇所も多い地区ですので、通学の安全を第一に考慮していただきたいです。

72	G.豊岡小学校	全年生で数人しかいない学校であれば先生の目が届くし、活気も出て統合するのはいいと思うが、何百人という学校が統合したらいいしめや、登校拒否が発生したとき、中学校からやり直す機会もなくなってしまう区外に転校するしなくなる。何でもかんでも一緒にするのは良くない
73	G.豊岡小学校	統合する時期が決まったら、早めに知らせしてほしい。
74	H.絹西小学校	1クラスに対する先生と生徒の人数が大きく違うことに不平等感を、感じる。(学習の面)
75	H.絹西小学校	絹西小学校の話をすれば、現状適正配置にて合併するのであれば、学年人数はとも多量の校舎の改築や先生の増員が必要である。
76	H.絹西小学校	統合するのであれば、私たち保護者は統合がいつかなのかハッキリ日程を早く知りたい。そして、詳しく話が聞きたい。今通っている学校ではないところに登校となると、家庭生活にも影響は出ると思うので、安心して新しい環境に入っていけるような説明は必要だと思う。
77	H.絹西小学校	社会人としてなんですが、絹西小学校はきぬの里からそんな速くはないですが、バスが出ています。朝通勤する時にバスが道路のカーブで停まっているので運転者側からすれば邪魔です。小学校前より中学校が遠いので6年間バスだった人は体力もなければ道路の安全、マナーをしりません。新らしく中学1年生になった子はよく坂手の郵便局前の道路で転んでます。よろよろしている子、横に何列にも並び非常に危ないです。雨の日は中学校まで送っていらおう子が多数います。中学校の前は渋滞になります。小学校のバスを考え直してもらいたいです
78	H.絹西小学校	複式学級では他学校と比べて平等な教育が受けられないと考えるため、ある程度の統合には賛成である。しかし、距離が遠くなることや登校手段への懸念が考えられる。統合もよいが、この計画を見ると、人口(子供)の減少がそんなに著しいのかと驚く。もっと新規住民の確保や地域の活性化に力を入れるべき。
79	H.絹西小学校	中学校が遠すぎず、いつ事件事故が起こるか分からない状態で、とても心配だし不安です。
80	H.絹西小学校	中学校と家との距離が離れてしまう場合、登下校等の毎日のことなので安全面がとても心配です。保護者の迎えが必要な際や参観のデメリットも考えてしまいます。計画の予定がもう少しゆっくりにても良いかなとも感じました。
81	H.絹西小学校	今でさえ学校が遠く登下校が大変なので統合するとかよりも近くにも近くに学校を作ってほしい。作る予定だったと聞いたが作る予定地だった場所に倉庫ができてしまっているのでは不信感しかないです。
82	H.絹西小学校	絹西小学校から水海道西中学校は遠いです。
83	H.絹西小学校	統合もよいが、人口減少を止めるために新規住民の確保や地域活性化にもっと力を入れるべき。きぬの里住人は、近くに学校建設がされるといふ話だったはず。それもなされず、教育の環境が悪い。水海道西中へは6キロ近くもあり、歩道も整備されていない危なく暗い道を通わせたくない。中学生こそ勉強や部活に忙しく、バス通学にするべきだ。実際、通学路で中学生の交通事故も起きているはず。早く改善してほしい。
84	H.絹西小学校	絹西小の人数でも運動会などをすると校庭の狭さを感じます。生徒人数を増やすのであれば、設備の整備もゆとりあるように検討したほうがいいと思います。また、人数を増やしても各生徒に目が届くよう、また問題のある先生を見つければ、各クラス先生2人など、現代にあった工夫を考えて頂きたいです。
85	H.絹西小学校	個別の指導に近い体制をいだけるのであれば教師を雇うために追加で料金払っても良い
86	H.絹西小学校	小学校の人数は多いけど、地域での子供の人数は少ないので、規定の登校ルートではなく、遠回りしていたり、途中まで送ってくる家庭や、一人の班もあるので、スクールバスがあるとお金はかかるけど、有り難い人も沢山居るのかなと思います。
87	H.絹西小学校	統合の組み合わせをお示しいただいているが、これが実現した時に、通学先がどこになるのか、今と変わるのが分からない。
88	H.絹西小学校	もし小中学校適正配置を実現させるのであれば、何年か早め環境にしたい。
89	H.絹西小学校	登下校、安心安全で登校できる環境にしてほしい
90	H.絹西小学校	人数が増えるとうちの行事の際の駐車スペース等の確保に苦慮する。学校、保護者共に負担にならない運用を統合前に検討しておいて欲しい。
91	H.絹西小学校	学校がとにかく遠い。子供の安全面が不安。1クラスの子供の人数が多く、先生が生徒を把握しきれない。学校全体を見て、子供たちのトラブルも目立つ。そもそも国の方針に疑問。今の時代にそぐわない。

92	H.絹西小学校	小中学校の児童生徒数のこれまでの変化や今後の予想等の資料がわかりやすかったです。しかし、学校と家との距離があまりに離れてしまうと、子どもたちも保護者もデメリットが多いと感じます。計画された年数で統合していくのは時期が早いように思います。
93	H.絹西小学校	登下校の安全性については距離は関係なくスクールバスにしてもいいと思います。
94	H.絹西小学校	統廃合にはおおむね賛成ですが、登下校の安全確保や、スクールバスなど通学方法の選択肢が必要だと思います。
95	H.絹西小学校	現在、絹西小では地域促進バスが導入されていますが、中学校に入るとかなり長距離を自転車通勤で通学します。事件事故や天候など心配が多く、中学生の通学についても何らかのご考慮いただきたいです。保護者の送迎を許可したり、公共交通機関を割引価格で利用できるようにしたり、子供の命と健康を守るご検討をよろしくお願ひします。
96	H.絹西小学校	学校全体の生徒数が増えたとしても各クラスの人数は増やさなくていいです。
97	H.絹西小学校	個別指導に近い教育を受けられるのであれば教師を雇い続けるために追加で費用を支払うことも考える
98	H.絹西小学校	児童が減少していくので統合を考えて行かなければならないのはわかりますが、対象の学校に通っている地区の方たちの意見を最初に聞いていた方がいいと思います。
99	H.絹西小学校	統廃合するのであればスクールバスの運用が必須。
100	H.絹西小学校	中学校が遠すぎる。自転車では細い農道のような緩急のある道路を8kmも通学させると思うと不安です。事件事故が起きないか心配。
101	H.絹西小学校	上記、早退の際については、迎えの時間がかかる場合に備えて保健室のベッド数を増やすことも検討されていますか？
102	I.菅生小学校	適正配置は大賛成です。しかし、統合をいつするかではなく、教育委員会がどのようなプロセスで進めていくかが重要です。子ども達が統合してよかったと思うか、そうでないかは学校の協力はもちろろん、教育委員会の進め方が重要です。丁寧に適正配置の必要性を訴えていただき、子ども達のために計画を進めていただきたいです。政治に左右されない判断を市長・教育長に期待します。
103	I.菅生小学校	人数が多くなれば、個々に対して柔軟な対応がしにくい。
104	I.菅生小学校	多様性が認められ、今現在昔とは違う局面にあると思われれます。1人1人に寄りそい、学習面や精神面で、誰1人、何一つ軽んじられる事のない教育を望みます。
105	I.菅生小学校	バスで通うなら無料化で
106	I.菅生小学校	人数が多くなれば、個々に対して柔軟な対応がしにくい。子ども同士の争いが多発する。
107	I.菅生小学校	多様性が認められ、今現在昔とは違う局面にあると思われれます。1人1人に寄りそい、学習面や精神面で、誰1人、何一つ軽んじられる事のない教育を望みます。
108	I.菅生小学校	通学方法について知りたい
109	I.菅生小学校	バスで通うなら無料化で
110	I.菅生小学校	絹西は、生徒数が多いので、統合なしでよいのでは？
111	I.菅生小学校	中高が一緒になるのはメリットを感じるが、小中はデメリットしか思い浮かばない
112	I.菅生小学校	児童数が減少しているのはわかるが、現学区外で統合となると子供達の心理的不安や、地域でのコミュニケーションの取り方が難しくなるのがよく思わない。また現状、少人数の学校ではあるが不安や不満はなく、むしろ学校全体で児童を把握してくれていることが安心につながっている。
113	J.岡田小学校	上記でも記入した通り、岡田幼稚園と飯沼幼稚園は合併しているの、小学校のみ別々になってしまっている。仲良しのお友達と一緒に小学校に行けると思っているのに行けないとなると子どもたちも可哀想。学校の耐震もとても心配。衛生面も綺麗とは言い難くすぐに修繕してほしい。子どもたちは同じ小学校に通えるのをとても楽しみにしています
114	J.岡田小学校	幼稚園から中学校まで、統合の一貫校にしたいと思う。
115	J.岡田小学校	既存の形にとらわれず、タブレット学習を効果的に使用した効率的な学習ができる環境を整えていただくと嬉しいですね。不登校の子も自宅等で学習可能となると思います。
116	J.岡田小学校	適応指導教室の環境改善(特にトイレと二階のエアコン)をご検討いただくと幸いです。
117	J.岡田小学校	統合するのであれば、スクールバスは検討ではなく絶対的に必要だと思う
118	K.玉小小学校	地域コミュニティバスとの議論と同時並行的にやるべき。スクールバスの導入は不可避。
119	K.玉小小学校	人数が少ないと、いじめなどがあつた場合、居場所がなくなる気がする。人数が多く、何クラスかあれば、他のクラスがあれば、他のクラスに逃げ場ができてくると思う。

120	K.玉小学校	緊急事態に地域との関係は密接で、小さな集落の関係が子育てのために必要です。大きな組織である必要は高校や大学など、選択出来る環境で選びます。合併の方向性からの質問なので、鬼怒川の決壊を体験したことを考えるならば子供は10分以内に迎えに行ける環境で育てほしいです。
121	K.玉小学校	クラス替えなど、できると、いろんなお友達と仲良くなれるのでいいと思う。
122	K.玉小学校	石下地区の市役所の場所は、すり鉢の底のようで水害に弱い特性があり、玉地区から南に車で移動は危険です。近くに小学校があれば助かります。
123	L.石下小学校	統廃合するのでしたら早い段階で希望します。
124	L.石下小学校	とにかくPTAの負担を減らしてください。お金は払うので外部委託にしてほしいという方が今は多いのではないですか。
125	L.石下小学校	英語教育に力を入れてほしい
126	L.石下小学校	児童数が多くなる事により、部活動の人数や種類が増えて良いと思う。その一方で、先生方の仕事の負担が大きくなり時代に逆行してる気がする。(働き方改革) それに加え、質も低下する気がする。
127	L.石下小学校	適正配置についてではないが歩道がない道路を歩かせたら全員スクールバスを利用した方がよいと思う。または全通学路に安全な歩道を作る事が先だと考えます。
128	L.石下小学校	現在、学区内では自転車移動が可能であるが、範囲が広がれば保護者の知らない地域へも外出する機会が発生するので、心配な面もあります。しかしながら、生徒数の偏りを無くしていくには、やむを得ない取り組みではないかと思えます。
129	M.豊田小学校	正直、合併する事で今のように先生方が児童一人一人に向き合ってくさっていただいている状態も保たれるのが不安を感じます。しかし、少子化が進む中でクラス人数が減ってしまい仕方ない事だとは思っています。
130	M.豊田小学校	子供にとっても小学校、中学校という大事な時期は一生に一度しかありません。少子化が進んで子供の数が少ないことはかなり前から明らかだったことです。今すぐにも適正配置を実現してほしいです。また思春期に入ると子どもたちの精神的ケアも考えてあげてください。
131	M.豊田小学校	統合する場合は、登下校はスクールバスが必須です。こちらの環境を整える事も同時に検討をお願いします。
132	M.豊田小学校	そもそも子供が減るような住みにくい街にどんどんなっていて、学校が減れば更に少子化が進み負のスパイラルで残念です。
133	M.豊田小学校	子供の数が減っていくので、役員もたいへんになる。親の負担を減らして欲しい。
134	M.豊田小学校	正直、合併する事で今のように先生方が児童一人一人に向き合ってくさっていただいている状態も保たれるのが不安を感じます。豊田小学校はとも丁寧に対応していただき、地域の方も温かく変わって欲しくない気持ちもあります。しかし、少子化が進む中でクラス人数が減ってしまい仕方ない事だとは思っています。
135	N.飯沼小学校	問4で記載はありましたが、統合により通学距離が遠くなる場合は、必ずスクールバスを導入して頂きたいです。
136	N.飯沼小学校	いつもお世話になっております。統合にはおおむね賛成です。減少している児童・生徒の人数と職員の方々の人数を考えます。できれば1クラスの人数は今のようにならぬと、教員の方々や子どもたちには負担の少ない方向で考えていただけたいと思います。具体的には想像できていないので、これから疑問が出てくると思いますが、子どもたちと職員の方々の学校生活が統合によってより良い変化になってくれればと思います。これからも、どうぞよろしくお願ひいたします。
137	N.飯沼小学校	学習面や人間関係の面など、子ども達にとっても本来の充実した内容を指して欲しい。
138	N.飯沼小学校	少子化を見据えて、新しい施設を建てるのではなく、老朽化が進んでいる施設をリフォームしていく方が良いと思う。
139	N.飯沼小学校	適正配置には賛成ですが、現状でもスクールバスの運行が必要だと考えます。
140	N.飯沼小学校	年々、子供の数が減少しているので
141	O.水海道中学校	小学校・中学校の適正配置も早急な対応が必要かと思いますが、その前に公立の幼稚園・保育園の適正配置も考えていかないと市税を圧迫するのではないのでしょうか。少子化の時代なので、早めに取り組まないで定員割れの幼稚園・保育園ばかりが増えてしまいます。小学校も同様。例えば下妻市では、今後の市税圧迫を考えて公立幼稚園保育園をなくし、民間保育園などを後押しする方針を掲げています。
142	O.水海道中学校	適正配置は仕方ないことだとは思いますが、人数が少なくなると単学年で6年間過ごし、イジメ問題も我慢して中学校を選択できなくてやと離れられる…と思ったので、クラスが違って同じ学校に加害側がいることや、人数が増えることで先生の目が行き届かずに深刻化するのではないかと不安に思う。



143	Q.水海道中学校	予算を充分にあてて、それなら賛成。無駄な経費に使うのなら反対だ
144	Q.水海道中学校	小学生は小学生の中で学びや成長があり、中学生は難しい年頃なのでやはり同じ年代で成長した方が良い。
145	Q.水海道中学校	部員が少なく部活動存続が厳しい。中学校に関しては統合して欲しい。
146	Q.水海道中学校	なぜ統合する必要があるのでしょうか？子供たち1人ひとりの事をよく見てもらえなくなりそうなので統合は反対です。
147	Q.水海道中学校	登下校の経路の現状把握と、安全対策を積極的にお願いしたいです。
148	P.鬼怒中学校	個人的には賛成です。正直もっと早くに取り組みしてほしいかと感じていました。コロナもあり、コミュニケーションとれる子になれるから心配しています。
149	P.鬼怒中学校	鬼怒中は水海道中と石下中の間にあるため、子供達が住んでいる場所からある程度通学出来る範囲を考えて分けてもいいのではないかと思います。
150	P.鬼怒中学校	鬼怒中学校にお世話になり、5年目になります。本当に丁寧で、きめ細やかにご指導をいただいていることを実感しています。
151	P.鬼怒中学校	少人数化を逆に強みにしてアピールし、近隣からの移住者を増やす方が良い
152	P.鬼怒中学校	鬼怒中の少なさには本当に子供達には残念な事が多かったです。中学が、自由に選択できるようにしてしまっただけで、校舎もきれいな水海道中学に行く子選から、バカにされたりしたので、今後は統合して皆平等にしてあげないと、少人数の中学はほんとかわいそうです。
153	P.鬼怒中学校	意図的に古いハードの校舎を建てず他の学校へ生徒を誘導し結果古い学校を閉鎖するやり方に反対
154	Q.水海道西中学 154校	子どもは減る一方なので、早めを実施した方が良いと思います
155	Q.水海道西中学 155校	いじめや性問題が発生したらどう対処していきますか？中学生が小学生低学年にいたずらしたりなどの心配はないですか？こういった事も起こり得る可能性があると思うので、安易に賛成出来ません
156	Q.水海道西中学 156校	反対です。
157	Q.水海道西中学 157校	選べる中学校が西中しかなく、統合するといわれてもイメージがわからない。今も登下校の安全面を考えると、保護者は心配になっている。
158	Q.水海道西中学 158校	先生方の忙しい状況や、地域の性格や状況の偏りなど良い方向への向上へ向えば良いと思います。
159	Q.水海道西中学 159校	統合するのであれば、早めを実施するべき
160	Q.水海道西中学 160校	校長、教頭、教務主任、教員、事務の方等の配置重複が無くなり、人員削減や効率が良くなり良いと思います。
161	Q.水海道西中学 161校	どのくらいの人数を目標として統合するのか、施設の設備的には大丈夫なのか、具体的な数字を示してほしい
162	Q.水海道西中学 162校	今現在も、児童1人1人に目が行き届いていない。



常総市小中学校適正配置アンケート調査(未就学児保護者対象)のポイント

《概要》

- ・市内未就学児保護者を対象に9月17日から10月15日にかけてアンケートを実施しました。
- ・実施方法はいばらき電子申請の無記名アンケート機能または紙媒体の回答用紙にて実施しました。
- ・対象数は1,540件です。

《調査結果のポイント》

問1 お住いの小学校区はどちらですか

- ・小学校区分を表したものです。
- ・全体の回答数は681件で回答率44.2%です。

問2 お子さんの学年はどちらですか

- ・学区別および学年別で表したものになります。

問3 小中学校の適正配置（統合）そのものについて、どのようにお考えでしょうか。

- ・理解できる、おおむね理解できると回答した方が約72%になります。

《小学校区別の特徴》

- ・A「理解できる」の回答結果を小学校区別にみると E 大花羽小学校区 78.9%、M 豊田小学校区 65.2%と特に高い傾向にあります。
- ・統合第1段階に係る菅原小学校区においても42.9%と平均より10pt以上高い結果になります。
- ・三妻小学校区に関してはA「理解できる」、B「おおむね理解できる」を合わせると77.9%になりますが、B「おおむね理解できる」が50.8%と高い傾向にあります。
- ・五箇小学校区に関しては、D「あまり理解できない」が31.6%と高い傾向にあります。
- ・水海道小学校区、大生小学校区に関しては、C「どちらともいえない」が水海道小学校区で32.9%、大生小学校区で41.4%と高い傾向になりました。

問4 小中学校適正配置の具体的な組み合わせ案についてどう思われますか。

- ・全体の割合でみると、A「賛同できる」B「おおむね賛同できる」と回答した方が約87%になります。

《小学校区別の特徴》

- ・A「賛同できる」の回答結果を小学校区別にみると、J 岡田小学校区 64.7%、M 豊田小学校区 55.0%、E 大花羽小学校区 50.0%、N 飯沼小学校区 50.0%となり他に比べ高い傾向

にあります。

- ・ B「おおむね賛同できる」の回答結果をみると、B 大生小学校区 60.0%、F 菅原小学校区 57.9%、I 菅生小学校区 57.1%と高い傾向であります。組み合わせ案に反対ではないが大賛成ではないと捉えられる結果であり、個別にご意見を伺う場を設ける必要があると考えられます。
- ・ C「わからない」の意見について、A 水海道小 19.6%、C 五箇小 27.3%と平均より高い傾向にあります。

問5 お子さんが通学する学校の小中学校適正配置の実施時期について、どのように考えていますか。

- ・ 全体の割合でみると、A「すぐに必要」約 36%、B「5 年程度先に必要」約 29%になります。
- ・ A「すぐに必要」との回答結果を学校別にみると、E 大花羽小学校区 75%、F 菅原小学校区 63.2%と特に高い傾向です。この小学校区に関しては早急な対応が必要と感じる保護者が多いと考えられます。

問6 小中学校適正配置に関する判断の理由を以下の中から選択してください。※複数選択最大3つまで。

- ・ 全体の結果として、適正配置がメリットと感じる意見の中で A「.集団の中で、多様な考えに触れ、協力し合い、切磋琢磨する機会が多く、競争心も育成される」が 24.1%と最も高くなりました。
- ・ デメリットを感じる意見の中では、H.「学校までの距離が遠くなることから、登下校時の安全性が心配」が 13.6%と最も高い数値となりました。後半自由意見にもありますが、通学に関する関心は高い傾向であります。
- ・ 問3 との比較結果によると D「あまり理解できない」E「理解できない」と回答した方においての H.「学校までの距離が遠くなることから、登下校時の安全性が心配」は 18%から 23%と平均よりも高く出ています。

問6 その他の意見

- ・ 少人数学級の解消についてのご意見や少人数学級をメリットと捉えるご意見がありました。

問7 自由意見

- ・ 全体として、通学に関するご意見が多くありました。
- ・ 統合案について、より具体的なお意見がありました。

# 常総市小中学校適正配置 アンケート調査（未就学児保護者対象）

令和3年11月26日  
常総市教育委員会

## I.調査の概要

1. 調査の目的	2
2. 調査方法	2
3. 調査期間	2
4. アンケート調査の調査項目内容	2
5. アンケートの回収方法	2

## II.調査結果

問1 お住いの小学校区はどちらですか	3
問2 お子さんの学年はどちらですか	4
問3 小中学校の適正配置（統合）そのものについて、どのようにお考えでしょうか	5,6
問4 小中学校適正配置の具体的な組み合わせ案についてはどう思われますか	7,8
問5 お子さんが通学する学校の小中学校適正配置の実施時期について、 どのように考えていますか	9,10
問6 小中学校適正配置に関する判断の理由を、以下の中から選択してください ※複数選択、最大3つまで	11～14
問7 その他、小中学校適正配置に対するご意見があれば、ご自由に記述ください	14～23

## I.調査の概要

### 1. 調査の目的

市教育委員会では児童・生徒数の減少が進む中、今年4月に常総市立小中学校適正配置実施計画検討委員会を設置し、市内19校の小中学校を対象に、今後10年から15年を見据えた適正な学校配置の検討をスタートしました。

この度、未就学児の保護者の皆さまと問題意識を共有するとともに、様々なご意見をお聞かせいただき、計画策定の参考とさせていただきます。保護者アンケート調査を実施させていただきます。

### 2. 調査方法

いばらき電子申請システムの無記名アンケートを使用。

市内未就学児の保護者に対して、依頼文を通知し、添付されたQRコードやURLから「いばらき電子申請システム」の回答フォームにアクセスしていただきます。

また、電子申請での回答が難しい場合は紙の回答用紙にて回答していただきます。

未就学児1人につき1回の回答。

※回答数は、設問によって違うことがあります。

### 3. 調査期間

- 令和3年9月17日(金)～ 令和3年10月15日(金)

### 4. アンケート調査の調査項目内容

設問	目的
問1・学校区分	回答者の属性を把握し、分析を行うため
問2・学年区分	
問3・適正配置に関する意見	適正配置全体に対する意向を把握するため
問4・市の具体案に関する意見	市の適正配置組み合わせ案に対しての意向を把握するため
問5・適正配置の時期	
問6・適正配置に関する意見の理由	適正配置に関する意向の理由を把握するため
問7・適正配置に関する自由意見	

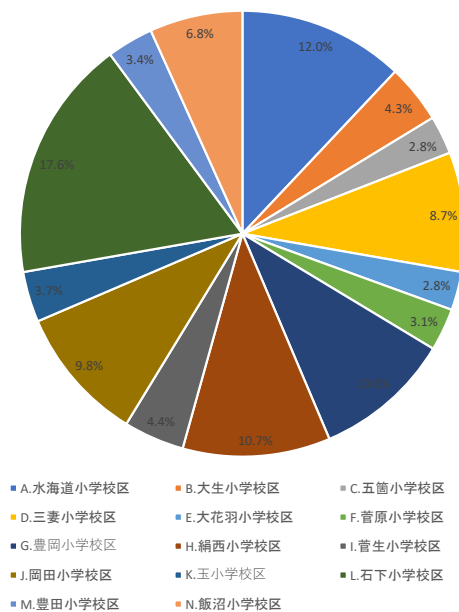
### 5. アンケートの配付と回収方法

対象者	市内未就学児の保護者
配付数	1,540
配付方法	幼稚園、保育園へ配付
回収方法	いばらき電子申請(アンケート) または、回答用紙

2

## II.調査結果

### 問1 お住いの小学校区はどちらですか



対象数		1,540
小学校区	回答数	地区別割合
A.水海道小学校区	82	12.0%
B.大生小学校区	29	4.3%
C.五箇小学校区	19	2.8%
D.三妻小学校区	59	8.7%
E.大花羽小学校区	19	2.8%
F.菅原小学校区	21	3.1%
G.豊岡小学校区	68	10.0%
H.絹西小学校区	73	10.7%
I.菅生小学校区	30	4.4%
J.岡田小学校区	67	9.8%
K.玉小学校区	25	3.7%
L.石下小学校区	120	17.6%
M.豊田小学校区	23	3.4%
N.飯沼小学校区	46	6.8%
合計	681	44.2%

3

## II.調査結果

問2 お子さんの学年はどちらですか

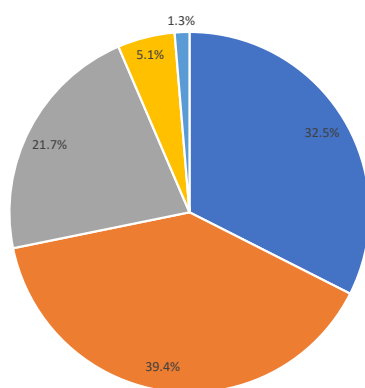
	学年	A.0歳児クラス (R2.4.2~R3.4.1)	B.1歳児クラス (H31.4.2~R2.4.1)	C.2歳児クラス (H30.4.2~H31.4.1)	D.3歳児クラス (H29.4.2~H30.4.1)	E.4歳児クラス (H28.4.2~H29.4.1)	F.5歳児クラス (H27.4.2~H28.4.1)	合計
学校	回答数	28	59	74	147	174	199	681
A.水海道小学校区	82	5	10	11	14	21	21	82
B.大生小学校区	29	0	3	3	4	8	11	29
C.五箇小学校区	19	2	1	2	0	6	8	19
D.三妻小学校区	59	0	8	9	14	17	11	59
E.大花羽小学校区	19	1	1	2	5	5	5	19
F.菅原小学校区	21	0	0	2	6	5	8	21
G.豊岡小学校区	68	4	8	7	15	18	16	68
H.絹西小学校区	73	4	6	9	16	16	22	73
I.菅生小学校区	30	1	1	4	7	8	9	30
J.岡田小学校区	67	3	9	3	14	19	19	67
K.玉小学校区	25	1	1	2	6	6	9	25
L.石下小学校区	120	3	8	9	29	30	41	120
M.豊田小学校区	23	2	1	3	3	7	7	23
N.飯沼小学校区	46	2	2	8	14	8	12	46

4

## II.調査結果

問3 小中学校の適正配置（統合）そのものについて、どのようにお考えでしょうか

※問1で回答した681件が対象



	回答数	割合
A.理解できる	221	32.5%
B.おおむね理解できる	268	39.4%
C.どちらとも言えない	148	21.7%
D.あまり理解できない	35	5.1%
E.理解できない	9	1.3%
合計	681	100.0%

- A.理解できる
- B.おおむね理解できる
- C.どちらとも言えない
- D.あまり理解できない
- E.理解できない

○「理解できる・おおむね理解できる」と回答した人が、**約72%**

5

問3 小中学校の適正配置（統合）そのものについて、どのようにお考えでしょうか

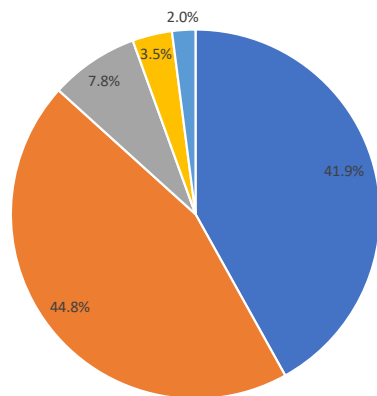
	回答数	A.理解できる		B.おおむね理解できる		C.どちらとも言えない		D.あまり理解できない		E.理解できない	
全体	681	221	32.5%	268	39.4%	148	21.7%	35	5.1%	9	1.3%
A.水海道小学校区	82	17	20.7%	34	41.5%	27	32.9%	3	3.7%	1	1.2%
B.大生小学校区	29	6	20.7%	9	31.0%	12	41.4%	2	6.9%	0	0.0%
C.五箇小学校区	19	5	26.3%	6	31.6%	2	10.5%	6	31.6%	0	0.0%
D.三妻小学校区	59	16	27.1%	30	50.8%	11	18.6%	1	1.7%	1	1.7%
E.大花羽小学校区	19	15	78.9%	3	15.8%	1	5.3%	0	0.0%	0	0.0%
F.菅原小学校区	21	9	42.9%	10	47.6%	2	9.5%	0	0.0%	0	0.0%
G.豊岡小学校区	68	18	26.5%	31	45.6%	13	19.1%	4	5.9%	2	2.9%
H.絹西小学校区	73	24	32.9%	24	32.9%	18	24.7%	7	9.6%	0	0.0%
I.菅生小学校区	30	9	30.0%	12	40.0%	7	23.3%	2	6.7%	0	0.0%
J.岡田小学校区	67	25	37.3%	26	38.8%	13	19.4%	1	1.5%	2	3.0%
K.玉小学校区	25	8	32.0%	10	40.0%	5	20.0%	0	0.0%	2	8.0%
L.石下小学校区	120	38	31.7%	46	38.3%	29	24.2%	6	5.0%	1	0.8%
M.豊田小学校区	23	15	65.2%	5	21.7%	3	13.0%	0	0.0%	0	0.0%
N.飯沼小学校区	46	16	34.8%	22	47.8%	5	10.9%	3	6.5%	0	0.0%

6

II.調査結果

問4 小中学校適正配置の具体的な組み合わせ案についてはどう思われますか

※問3で、A「理解できる」、B「おおむね理解できる」と回答された方489件が対象



	回答数	割合
A.市の組み合わせ案に賛同できる	205	41.9%
B.市の組み合わせ案におおむね賛同できる	219	44.8%
C.どちらとも言えない	38	7.8%
D.市の組み合わせ案にはあまり賛同できない	17	3.5%
E.市の組み合わせ案には賛同できない	10	2.0%
合計	489	100.0%

- A.市の組み合わせ案に賛同できる
- B.市の組み合わせ案におおむね賛同できる
- C.どちらとも言えない
- D.市の組み合わせ案にはあまり賛同できない
- E.市の組み合わせ案には賛同できない

○「賛同できる・おおむね賛同できる」と回答した人が、**約87%**

7



問4 小中学校適正配置の具体的な組み合わせ案についてはどう思われますか

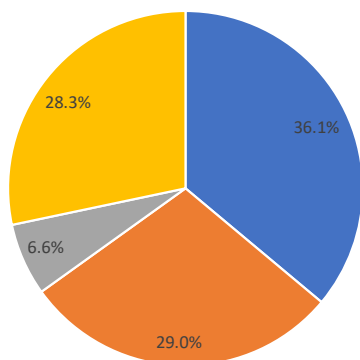
	回答数	A.市の組み合わせ案に賛同できる		B.市の組み合わせ案におおむね賛同できる		C.どちらとも言えない		D.市の組み合わせ案にはあまり賛同できない		E.市の組み合わせ案には賛同できない	
全体	489	205	41.9%	219	44.8%	38	7.8%	17	3.5%	10	2.0%
A.水海道小学校区	51	13	25.5%	23	45.1%	10	19.6%	4	7.8%	1	2.0%
B.大生小学校区	15	5	33.3%	9	60.0%	1	6.7%	0	0.0%	0	0.0%
C.五箇小学校区	11	3	27.3%	4	36.4%	3	27.3%	0	0.0%	1	9.1%
D.三妻小学校区	46	12	26.1%	24	52.2%	4	8.7%	4	8.7%	2	4.3%
E.大花羽小学校区	18	9	50.0%	7	38.9%	0	0.0%	0	0.0%	2	11.1%
F.菅原小学校区	19	8	42.1%	11	57.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
G.豊岡小学校区	49	17	34.7%	24	49.0%	4	8.2%	2	4.1%	2	4.1%
H.絹西小学校区	48	23	47.9%	23	47.9%	2	4.2%	0	0.0%	0	0.0%
I.菅生小学校区	21	8	38.1%	12	57.1%	0	0.0%	1	4.8%	0	0.0%
J.岡田小学校区	51	33	64.7%	13	25.5%	4	7.8%	0	0.0%	1	2.0%
K.玉小学校区	18	8	44.4%	9	50.0%	1	5.6%	0	0.0%	0	0.0%
L.石下小学校区	84	36	42.9%	39	46.4%	5	6.0%	4	4.8%	0	0.0%
M.豊田小学校区	20	11	55.0%	7	35.0%	0	0.0%	1	5.0%	1	5.0%
N.飯沼小学校区	38	19	50.0%	14	36.8%	4	10.5%	1	2.6%	0	0.0%

8

II.調査結果

問5 お子さんが通学する学校の小中学校適正配置の実施時期について、どのように考えていますか

※問4で、A「市の組み合わせ案に賛同できる」、B「市の組み合わせ案におおむね賛同できる」と回答のあった424件が対象



	回答数	割合
A.すぐに必要	153	36.1%
B.5年程度先に必要	123	29.0%
C.10年以上先に必要	28	6.6%
D.わからない	120	28.3%
計	424	100.0%

- A.すぐに必要
- B.5年程度先に必要
- C.10年以上先に必要
- D.わからない

○「すぐに必要」と回答した人が、**約36%**  
「5年程度先に必要」と回答した人が**約29%**

9

問5 お子さんが通学する学校の小中学校適正配置の実施時期について、どのように考えていますか

<小中学校別>

	回答数	A.すぐに必要		B.5年程度先に必要		C.10年以上先に必要		D.わからない	
全体	424	153	36.1%	123	29.0%	28	6.6%	120	28.3%
A.水海道小学校区	36	13	36.1%	9	25.0%	2	5.6%	12	33.3%
B.大生小学校区	14	6	42.9%	5	35.7%	2	14.3%	1	7.1%
C.五箇小学校区	7	3	42.9%	3	42.9%	0	0.0%	1	14.3%
D.三妻小学校区	36	14	38.9%	7	19.4%	4	11.1%	11	30.6%
E.大花羽小学校区	16	12	75.0%	3	18.8%	0	0.0%	1	6.3%
F.菅原小学校区	19	12	63.2%	5	26.3%	0	0.0%	2	10.5%
G.豊岡小学校区	41	9	22.0%	17	41.5%	1	2.4%	14	34.1%
H.絹西小学校区	46	11	23.9%	20	43.5%	4	8.7%	11	23.9%
I.菅生小学校区	20	11	55.0%	3	15.0%	4	20.0%	2	10.0%
J.岡田小学校区	46	16	34.8%	8	17.4%	6	13.0%	16	34.8%
K.玉小学校区	17	6	35.3%	4	23.5%	3	17.6%	4	23.5%
L.石下小学校区	75	21	28.0%	24	32.0%	1	1.3%	29	38.7%
M.豊田小学校区	18	9	50.0%	5	27.8%	1	5.6%	3	16.7%
N.飯沼小学校区	33	10	30.3%	10	30.3%	0	0.0%	13	39.4%

10

## II.調査結果

問6 小中学校適正配置に関する判断の理由を、以下の中から選択してください ※複数選択、最大3つまで

選択	回答数	割合
A.集団の中で、多様な考えに触れ、協力し合い、切磋琢磨する機会が多く、競争心も育成される	432	24.1%
B.運動会などの学校行事や音楽活動などの集団教育活動に活気が生まれやすい	169	9.4%
C.児童・生徒数、教員数がある程度多いため、グループ学習や習熟度別学習、専科教員による指導など、多様な学習・指導形態が取りやすい	147	8.2%
D.児童・生徒数が多いとクラブ活動や部活動の種類が豊富である	128	7.2%
E.クラス替えが柔軟にできることから、人間関係や相互の評価などが固定化されない	151	8.4%
F.児童・生徒数が多いと運動会などの学校行事や音楽活動などの集団教育活動が適している	69	3.9%
G.児童・生徒数が多いとPTA活動等における保護者一人あたりに負担が小さい	125	7.0%
H.学校までの距離が遠くなることから、登下校時の安全性が心配	243	13.6%
I.児童生徒の増加により、子どもたち一人ひとりの把握が難しくなりやすい	192	10.7%
J.学校行事や部活動などにおいて、児童生徒一人ひとりに個別の活動機会を設定しにくい	18	1.0%
K.保護者や地域社会との連携が難しくなりやすい	36	2.0%
L.児童・生徒数が多くなってしまうと、児童生徒相互の人間関係が深まりにくい	37	2.1%
M.児童・生徒数が多くなってしまうと、異学年間の縦の交流が薄れてしまう	20	1.1%
N.地域のシンボルや伝統がなくなってしまうことで、地元への愛着心がなくなってしまう	14	0.8%
O.その他	8	0.4%
	1,789	100.0%

11

問6 小中学校適正配置に関する判断の理由を、以下の中から選択してください  
 ※複数選択、最大3つまで

	回答	問3										計		
		A.理解できる		B.おおむね理解できる		C.どちらとも言えない		D.あまり理解できない		E.理解できない				
問6	A.集団の中で、多様な考えに触れ、協力し合い、切磋琢磨する機会が多く、競争心も育成される	A	182	31.0%	160	23.0%	66	16.8%	18	20.0%	6	27.3%	432	24.1%
	B.運動会などの学校行事や音楽活動などの集団教育活動に活気が生まれやすい	B	76	12.9%	68	9.8%	22	5.6%	2	2.2%	1	4.5%	169	9.4%
	C.児童・生徒数、教員数がある程度多いため、グループ学習や習熟別学習、専科教員による指導など、多様な学習・指導形態が取りやすい	C	60	10.2%	67	9.6%	18	4.6%	1	1.1%	1	4.5%	147	8.2%
	D.児童・生徒数が多いとクラブ活動や部活動の種類が豊富である	D	57	9.7%	51	7.3%	19	4.8%	1	1.1%	0	0.0%	128	7.2%
	E.クラス替えが柔軟にできることから、人間関係や相互の評価などが固定化されない	E	59	10.0%	66	9.5%	23	5.8%	3	3.3%	0	0.0%	151	8.4%
	F.児童・生徒数が多いと運動会などの学校行事や音楽活動などの集団教育活動が盛んでいる	F	33	5.6%	24	3.5%	12	3.0%	0	0.0%	0	0.0%	69	3.9%
	G.児童・生徒数が多いとPTA活動等における保護者一人あたりに負担が小さい	G	39	6.6%	54	7.8%	28	7.1%	3	3.3%	1	4.5%	125	7.0%
	H.学校までの距離が遠くなることから、登下校時の安全性が心配	H	39	6.6%	90	12.9%	89	22.6%	21	23.3%	4	18.2%	243	13.6%
	I.児童生徒の増加により、子どもたち一人ひとりの把握が難しくなりやすい	I	24	4.1%	75	10.8%	69	17.5%	22	24.4%	2	9.1%	192	10.7%
	J.学校行事や部活動などにおいて、児童生徒一人ひとりに個別の活動機会を設定しにくい	J	1	0.2%	5	0.7%	6	1.5%	6	6.7%	0	0.0%	18	1.0%
	K.保護者や地域社会との連携が難しくなりやすい	K	7	1.2%	12	1.7%	13	3.3%	2	2.2%	2	9.1%	36	2.0%
	L.児童・生徒数が多くなってしまうと、児童生徒相互の人間関係が深まりにくい	L	4	0.7%	9	1.3%	15	3.8%	7	7.8%	2	9.1%	37	2.1%
	M.児童・生徒数が多くなってしまうと、異学年間の縦の交流が薄れてしまう	M	2	0.3%	8	1.2%	7	1.8%	3	3.3%	0	0.0%	20	1.1%
	N.地域のシンボルや伝統がなくなってしまうことで、地元への愛着心がなくなってしまう	N	2	0.3%	3	0.4%	6	1.5%	1	1.1%	2	9.1%	14	0.8%
O.その他	O	3	0.5%	3	0.4%	1	0.3%	0	0.0%	1	4.5%	8	0.4%	
	合計		588	100.0%	695	100.0%	394	100.0%	90	100.0%	22	100.0%	1,789	100.0%

問6 小中学校適正配置に関する判断の理由を、以下の中から選択してください。※複数選択、最大3つまで	
No	問6 その他の意見
1	A.水海道小学校区 O.その他(コロナ禍が落ち着けば人数が多くなっていいと思う)
2	D.三妻小学校区 O.その他(引越したばかりでよく分からない)
3	D.三妻小学校区 O.その他(自分が小学生の頃17名しかいなかったがすごくいい環境だった！人数が少ないからこそみんなと関わって、恥ずかしがり屋だった私が発表する事にも慣れて明るく過ごせた！中学で一気に人数が増え、いじめなども起きた。そういうのに先生や周りが気づいてあげられる環境にするためにも多すぎるのは良くないと思う。)
4	H.絹西小学校区 O.その他(第四保育所は、小学校に上がる際に、居住地域によって小学校がわかれてしまします。初めての小学校なので、保育園から仲が良い子と一緒にの方が、親としても安心なため。)
5	J.岡田小学校区 O.その他(少人数のまま偏った考えた方がいい)
6	K.玉小学校区 O.その他(小中学校適正配置の詳細がわからないため判断できない)
7	L.石下小学校区 O.その他(無駄な金が減る)
8	N.飯沼小学校区 O.その他(スクールの利用とありましたが、スクールのバスまでの送迎の時間が合うか心配だから。)

問7 その他, 小中学校適正配置に対するご意見があれば, ご自由に記述ください。	
No.	問1 小学校区分 問7 自由意見
1	A.水海道小学校区 うちは海小地区だからなんも問題もなく人数が増えるメリットしかないが、もちろん市の都合としか思えないので送迎バス費用は無償が大前提の話。その覚悟がないならやめたほうがいい。浸水の不安と学校の送迎の不安、負担があるから常総市を選ぶ理由がない。
2	A.水海道小学校区 少子高齢化が進む現状において、こどもの数が増加することは考えにくく、ある程度の規模の学校の維持を維持することが、こども達の将来に資するものと考えます
3	A.水海道小学校区 今後、オンライン授業がメインとなる時代がやってくるでしょう。その時、生徒数が多い学校が良いのか？逆に少ない方が良いのかも？考えてみたい。
4	A.水海道小学校区 小学校同士の統合ではなく、小学校と中学校の統合を希望です。小中一貫校。
5	B.大生小学校区 学童が各校にそれぞれあれば嬉しい
6	B.大生小学校区 学童がない学校にも他の所へ移動ではなくその学校で見てほしい。
7	C.五箇小学校区 当該配置案に伴い、学童保育の対応も十分検討したい
8	C.五箇小学校区 五箇小学区ですが、大生小と統合するより、三妻小の方がかなり近いです。なので第2段階は飛ばして最初から三妻小と統合してほしいです。大生小では遠すぎます。今、つくば市などで小中一貫校のキレイな学校ができてます。常総市も小中一貫校の新しい校舎など考えてほしいです。常総市はどこも学校が古くて汚いです。統合を機に新しい学校を作るとか考えてほしいです。
9	C.五箇小学校区 実施するのであれば第1段階と第2段階を一緒にやったほうがいいと思います。
10	C.五箇小学校区 少人数のクラスで学習できることを希望します。先生もその方がいいと思う
11	C.五箇小学校区 五箇小学校+三妻小学校の組み合わせ案は、ないのでしょか。
12	D.三妻小学校区 登下校の時間や安全性はしっかりとした通学体制を確立してもらいたいです。
13	D.三妻小学校区 三妻小学校と水海道小学校の合併は距離的にありえない
14	D.三妻小学校区 反対も多いと思いますが、大局的に必要であると考えます。登下校やPTA統廃合等の課題はあると思いますが、適正配置を進めることを前提に段階的に、市民の声を踏まえて変えていけばよいと思います。また、統廃合の中で外国籍の家庭やお子様への配慮をお願いいたします。

No.	問1 小学校区分	問7 自由意見
		適正配置に賛同するが、通学範囲が広がることで、遠方から通う生徒の登下校時の安全性が心配される。現状でも中学生の通学距離は大変遠いところがあり、かつ、通学路の整備も不十分な為、雨天時や夜間の自転車での通学には大変危険を感じている。歩道、ガードレール、自転車専用道路、街灯の増設など、通学路の危険箇所を見直しを早急にして欲しい。また、スクールバスを検討していただきたいが、毎日のバス通学では体力の低下も懸念されるので、雨天時や体調などによって、バスを選択できるなどの柔軟性があると大変ありがたい。
15	D.三妻小学校区	鬼に角、安心に登下校出来て、いじめの無い学校を作って欲しい
16	D.三妻小学校区	子供の人数が少なくなることから統合は理解出来ませんが、第3段階の統合でいったい何処に学校が置かれるのか、またかなり遠い場合どのように登下校するのも検討されていくなら知りたいです。
17	D.三妻小学校区	鬼怒中学区から水海道中にバスが電車を補助して欲しい
18	D.三妻小学校区	小学校2つずつぐらい良いかと思えます。
19	D.三妻小学校区	三妻小も人数が少ない為、合併してほしい。
20	D.三妻小学校区	水海道小+三妻小+(五箇小+大生小)ではなく、海小はそのままで三妻小+(五箇小+大生小)の合併でいいと思う。
21	D.三妻小学校区	これまでは、仮にいじめなどで学校に居づらくなった場合は近隣の学校へ転校できるような雰囲気があったと思うが、統合することで学校に居づらなくなった時の対応方法は明確にしておくべき。
22	D.三妻小学校区	現在、大花羽地区から豊岡小学校に通学している子がいて、菅原小学校と統合しても豊岡小学校へ通学する子が減ると思えず、生徒数が増加することは考えにくいため最初から3校で統合するのが望ましいと思う。
23	E.大花羽小学校区	段階を踏むことの必要性は理解できます。ただ統合に統合を重ねるよりは一気に第三段階へ動いて頂いた方が、子供たちの環境の変化に対して少なからずある不安感も一度で済むのではと思います。また大花羽と菅原を統合しても今の児童数とあまり変化がない為、第一段階から大花羽+菅原+豊岡が良いのではないかと考えます。
24	E.大花羽小学校区	大花羽小学校の学区の保護者です。今すぐにも統合してほしいと思っております。人数の少なすぎる学校では合わない友達と離れられないいじめなどの対象になってしまった場合6年間逃げ場のない学校生活になってしまうと不安ばかりです。人数が少ないことのメリットももちろんあるとは思いますが今のところは豊岡小学校に入学する予定はありません。
25	E.大花羽小学校区	
26	E.大花羽小学校区	段階を分けるのはなぜですか？大花羽小+菅原小+豊岡小の3つを早くまとめて欲しい。

No.	問1 小学校区分	問7 自由意見
27	E.大花羽小学校区	現在、大花羽地区から豊岡小学校に通学している子がいて、菅原小学校と統合しても豊岡小学校へ通学する子が減るとは思えず、生徒数が増加することは考えにくいと思います。3校で統合するのが望ましいと思う。
28	E.大花羽小学校区	今すぐにも統合してほしいです。大花羽小学校に入学させるつもりは今は今のところ皆無ですがたくさんの方の友達を作った皆さんの小学校6年間の楽しい思い出を我が子には作ってほしいと思っています。
29	E.大花羽小学校区	学校指定の体操服や体育館履きなど、サイズアウトで買い替えをする際、学校の組み合わせごとで指定してもらいたい。子供は成長が早いので、兄弟のお下がりが出来ないのは勿体ない。又、入学時に学校毎で揃えるものが違うので、無駄買いはならないように統一して欲しい。
30	F.菅原小学校区	このようなアンケートをとっている間にも子供たちは成長します。早急に行うことを望みます。また、これは市の存続にも関わる問題です。この様な事態になったことを検証し、その原因を突き止めないと最後には一つぐらしが残らないかもしれません。ただ適正配置するのとのみの議論だけではなく将来の市のビジョンも必要かと思えます。
31	F.菅原小学校区	通学距離が遠くなると、安全性の問題やそれを解決するための親の負担が増えることになるのが懸念点だが、その分、複数担任性など、多様な評価をしてくれる環境になってくれること、また各教科ごと専門の先生の指導を受けられる環境ができることは、通学時間よりも重要なことかと思うので、それが叶うのであれば賛成したい。結果的に体制が変わらないのであれば（特に複数担任希望）、合併する意味がないので、反対したい。
32	F.菅原小学校区	学区外でも行きたい学校に行けるといいと思います。
33	F.菅原小学校区	菅原小学校にR4年度より就学予定。統合されるのであれば、早い段階での取り組みを臨みます。また、スクールバスの利用においては、菅原地区内でも距離数によっては使用できるようにしてほしい。我が家は学校から3キロあるのでスクールバスの運営はすぐにもお願いしたい。
34	F.菅原小学校区	菅原と大花羽が合併になるのであれば菅原にして欲しい、学童も菅原に建てて頂きたい
35	G.豊岡小学校区	統合については理解はできるが、その後の校舎の使い道や早急な解体作業（既に老朽化なのに危険だし溜まり場になりかねない）。また、子供を増やさなければ未来がないのに、永遠に統廃合するつもり？、子供を産んだ後、ファミリーサポートや保育園、一時預かり等のシステムが無さすぎて魅力がない。一子目を産んでも引越したくなる。そちらをすぐに見直すべきでは？期待します。

No.	問1 小学校区分	問7 自由意見
36	G.豊岡小学校区	バスでの事故もあり、バス通学になる事に抵抗がある。何かあってからではなく、必ず安全に配慮できると親が納得出来る様に説明をいただきたい。学童に関しても統合するなら、今の施設では受け入れも難しいのでは？
37	G.豊岡小学校区	人数が多いと教職員の負担も大変だと思えます。
38	G.豊岡小学校区	通う小中学校が、現在通うとされる豊岡小にほかの小中学校が集まってきてくれるならいいと思う。
39	G.豊岡小学校区	少子化もありますが、常総市のこどもの減少は住みやすい環境が整っていない為だと思います。適正配置を検討するよりも先に何かしらの対策をして欲しいと思います。
40	G.豊岡小学校区	少子化が加速していることもあり、早急に改善されるべきだと思います。
41	G.豊岡小学校区	少子化で理解は出来るが、常総市はコロナワクチンの接種に関しても、年齢範囲が広かったり、理解に苦しむ事も多い為、きちんと考え、子供に負担になる様なことにならない様にして欲しい。また、学童に通わせる事になる為、学童に関しても必要な子供が入れるスペースの確保や職員の配置も考えて頂きたい。
42	G.豊岡小学校区	統合よりも子どもの数を増やすことを考えることが先ではないでしょうか？また人数が増えることによる校舎の建て替えや教職員の負担はどのように考えているのでしょうか？
43	G.豊岡小学校区	子供が通う学校は近くにあるべき。現在学校が近くにあるのに遠くなるなら絶対反対。児童が少ない地域の保護者はどう考えているのか…
44	G.豊岡小学校区	周りの交流が多くなり成長にも繋がりますが、その分人との関わりで人間関係も複雑になり心配も増えそうです…
45	H.絹西小学校区	内守谷町に住んでいますが、遠くて心配です。
46	H.絹西小学校区	児童数が多くなると、通学時の交通事故が心配。交通規制を真剣に考えていただきたい。
47	H.絹西小学校区	少子化が進んでるので仕方がない。
48	I.菅生小学校区	スクールバスを検討するのであれば、文部科学省の基準を参考にするのは時代遅れです。4キロの徒歩通学は現実的ではないですよね？統合という、保護者、地域住民、これまで学校を支えてきた方々の想いを鑑みるのであれば、常総市独自の考え方で、児童に寄り添った教育者運営を願います。
49	I.菅生小学校区	小学生と中学生では、トラブルが起きるのではないのでしょうか。
50	I.菅生小学校区	統合により距離が遠くスクールバスが必要な人は、送迎のバス料金などは発生しない方向で必ずお願いしたい。そうならないのであれば、住んでいる場所で不公平感が出てしまい、大反対である。
51	I.菅生小学校区	なし



No.	問1 小学校区分	問7 自由意見
52	J.岡田小学校区	にいろいろ幼稚園では、岡田と飯沼と一緒にいるので何も抵抗はないです！むしろ、卒園式など仲良くなったお友達とまた中学生まで離れ離れになる事がとても辛く思う事がありました。こんなに近くに住んでいるのに会えない事が可愛そうで。。。統合したら、通学の仕方やバスなのかなど、課題は何かとおもいますが、子供達が多い方が何やるにもいいと思います！すぐにも、来年でもいいです！なるべく早くに統合する事を強く願っています！どうかお願ひします！
53	J.岡田小学校区	小学校の耐震が心配です。小学生の子どもの奉仕作業で校内のトイレの清掃をしましたが、とても汚く、子どもたちも嫌がっています。感染症も心配な時に、まったく清掃が行き届いていません。早急に合併し、新校舎で綺麗な所で楽しい学校生活を送ってほしいです。岡田幼稚園と飯沼幼稚園は合併しているの、小学校のみ別々になってしまっている。仲良しのお友達と一緒に小学校に行けると思っているのに行けないとなると子どもたちも可哀想。
54	J.岡田小学校区	少子化は全国的な問題だから理解できるが、働く親としては通学バスの運用は必須なのでそこだけは確実に実施してもらいたい
55	J.岡田小学校区	上記の組み合わせだと実質的に小中一貫校という解釈になりますますがそのイメージでよろしいでしょうか？段階的に交流する相手が増えていく、中学校で他の小学校と一緒にになる事で新たな発見や視野の広がりに繋がると思っています。6歳で受ける刺激と13歳で受ける刺激は違うでしょうからぜひ中学校も統合して頂きたい。水海道、水海道西、石下地区の3校が望ましいと思います。
56	J.岡田小学校区	幼稚園の統合時期に合わせていただけると良かったと思います。
57	K.玉小学校区	統合はいいけど、いじめ問題が心配
58	K.玉小学校区	小学校が近いという理由で、今の土地を選んで引越して来ましたが、学校が遠くなってしまうと、毎日の子供達の睡眠時間も移動の時間に取り残られてしまいます。また、学童のお迎えも時間がかかるようになり、保護者の負担も増えます。上の兄弟達と、母校が違ってしまうことも、とても嫌です。統合には断固反対します。
59	K.玉小学校区	是非ともすぐに統合してもらえればいいと思います。
60	K.玉小学校区	小中学校適正配置の詳細がわからないため判断できません。
61	L.石下小学校区	統合はある程度理解できるが、市の案程にまでまどめなくともいいのではないかと思った。スクールバスを使うとは言え、そのバスで事故や事件等も起っているため、あまり遠かったり長い時間乗ることになると不安が大きい。

No.	問1 小学校区分	問7 自由意見
62	L.石下小学校区	問6のNのような意見もありますが、子供達は本当に少なくなっていますので、子育て世代の意見を聞きながら進めて欲しいです。
63	L.石下小学校区	少子化が進む中で、統合を先延ばしにしてもいいことはないと思う。少人数の利点は、大人数の利点に比べて少ないように思う。
64	L.石下小学校区	しょうがないことかもしれませんが親の負担が増えそうな気がします。それでも少しでもいい方向に行くことを願います
65	L.石下小学校区	人数の増加は何かがあっては不安。
66	L.石下小学校区	小学校の数を減らし過ぎでは？
67	L.石下小学校区	このアンケートが来るまで統合の話を知りませんでした。改めて資料を確認しようとして添付された資料を読もうと開いたところ、議事録がそのまま置かれており、子育てでバタバタしている世代の意見を真剣に聞く気があるのかな？と感じました。議事録は外国語に翻訳されているのでしょうか、簡易版が用意されているならその日本語版が欲しかったです。適正配置に関連しない意見ですみません。
68	L.石下小学校区	1クラスの人数が多くなることは、いろんな意味で良くないと思う。でも適正な人数でクラス数が多ければ問題ないと思う。
69	L.石下小学校区	学校は地域の真ん中ら辺に配置した方が良いと思います
70	L.石下小学校区	人数が増えることによる、学童の受け入れ体制もきちんと整えてほしい。
71	L.石下小学校区	学校を統合することにはメリットとデメリット両方あるのは承知しています。統合した後、ひとクラスの定員を下げて先生方の目が届くようにしてほしい。
72	M.豊田小学校区	1クラスで6年間過ごすのもいいとは思いますが、よりたくさんの友達や価値観と出会える機会を作ってあげたいと思っています。今、年中なので、小学校の入学までに間に合うと嬉しいです。
73	M.豊田小学校区	とにかくPTAの保護者負担が減るようにしてほしい。夫婦共働きが多くなってきている中、現在のPTA制度はそぐわない。そもそも加入は義務ではないのに、現状必ず入らなくてはいけないというのはおかしい。
74	M.豊田小学校区	豊田小のように1クラスで担任も1人という場合は先生と合わない場合非常に子どもが辛い面があるし、先生にとっても負担が多すぎると思う。適正配置に時間がかかるのであれば、クラス分けがない学校は教科担任生や他学校との交流を増やして子供達が閉鎖的な空間にならないようにケアしてほしいと切実に願います。

No.	問1 小学校区分	問7 自由意見
		現在保育園を利用していますが、豊田小地区なので、幼稚園でも保育園でもどちらしろ同じ小学校に行く子は少ないのですが、中学に上がる時もほとんど知らない同級生ばかりになることを今から心配していました。また、小さい小学校だと部活動などにも影響があるかと思っています(ミニバス等入っていないとやりたい部活動があってもやりづらいい?)。統合して大きくなり経験も増えるだろうし、統合には賛成です。ただ、場所がどのあたりになるのかはわかりませんが通学の距離があるので、どのようなのか少し不安かなという心配もあります。
75	M.豊田小学校区	
76	N.飯沼小学校区	問4で記載はありましたが、統合により通学距離が遠くなる場合は、必ずスクールバスを導入して頂きたい思います。
77	N.飯沼小学校区	問4で記載はありましたが、統合により通学距離が遠くなる場合は、必ずスクールバスを導入して頂きたい思います。
78	N.飯沼小学校区	通学路が遠くなる児童はバス通学を利用した方がいいと思います。
79	N.飯沼小学校区	子供が少なくなってくるので統合はいいと思う。スクールバスなどを出してもらえらると書いてあったので安心できるが、統合がすぐとなると正直戸惑うので準備などきちんと思いたいです。
80	N.飯沼小学校区	通学時間がかかる地区なので、スクールバスの導入をすぐにも実現してほしい。自分もその距離を通いましたが、本当につらかった。朝、登校の時点で疲れてしまいます。私の頃より、さらに夏は猛暑等気候の変化もあり、児童数の減少で特に下校時に一人になる可能性も増え、危険も増えている。バス代の負担等、幼稚園より金額が増えなくても構わないので、すぐにでも実現して下さい。学校の統合についても、できる限り早くしてほしい。せっかく、幼稚園が一緒になり子供が仲良くなっても、すぐに離れてしまうので残念です。
81	N.飯沼小学校区	岡田+飯沼についてですが、幼稚園、中学校が一緒なのに、どうして小学校だけ別になるのかの方が理解できなかつたので、統合については大賛成です。
82	N.飯沼小学校区	今現在、児童の数が少なく集団で登校することが出来ても下校することも困難な状況であり、保護者による送迎が必要不可欠になってきている。仕事にも支障をきたしているためスクールバスを出して欲しい。